巻頭言

フレンドシップ'97の賛助金にご協力有り難うございました

財団法人日本ハンドボール協会
常務理事
殿水幸雄

'97男子世界ハンドボール選手権大会が盛大に、また大成功の内に終わったことは、60周年を迎えた、日本ハンドボール協会並びに、ハンドボールに係わりを持ってきた人々にとって、画期的、また感動的な出来事でありました。この機関誌を読んでおられる全ての方が、実際に熊本に足を運ばれたり、テレビ、新聞等で毎日感動、感激を味あわれたことも事実であったと思います。私は、協会の財務・経理を担当する者として、この大会を成功させるために、いかに財源を集め、またいかに上手に運用し、そして収支をバランスさせるかに、気を揉んできました。皆様のご協力のお陰で、なんとかトントンに終わる事が出来たことに、関係者、ファンの皆様に、心より御礼を申し上げたいと思います。

この財源の中でも、とりわけ、心強く、また貴重だったのは、一人一口・1万円の賛助金・「フレンドシップ'97」の募金でした。1069名の多数の方に、1274万円という多額なお金を出していただいたことは、これからのハンドボール界のことを考えた時、大変大きな事であると思うからです。皆様が既にご存知のように、日本のスポーツ界では、殆どの団体が財源不足で悩んでおり、やらなくてはいけない事が出来ない、と言うのが現実です。何時も、鶏が先か、卵が先かの議論になってしまいます。何れにしても、現在の社会環境からすれば、国の財政に期待をする訳に行きません。しからば、自らが、その財源を集め出さなくてはなりません。

協会とすれば、今後色々な収益事業を考え、行っていかなければなりませんが、また一方で、多くの、幅広い範囲の企業・団体・個人から、財源を集めていかなければならないでしょう。この数年間、日本リーグ加盟チームに大変お世話になってきましたが、これから、もっともっと、大きな、大切な事に手をつけて行く為には、ハンドボールにかかわっている一人一人の、力と、協力が本当に大切なんだと痛感します。その意味でも、多くの方々にご協力いただいた「フレンドシップ'97」の賛助金は、ハンドボール界にとって素晴らしい成果でありました。ここに、紙面を借りて心より感謝いたしたいと思います。

協会だより

平成9年度8月度 常務理事会

日時 8月30日(土)11時～17時
場所 平沼記念レストハウス会議室
出席者 中澤専務理事、常務理事7名、参事、監事各1名、事務局2名

1 今後の高校選抜大会開催事項について

高体連よりの選抜大会出場枠拡大の強い要請に対して協議。今後は愛知県協会を加えた東京、大阪、名古屋の都市圏で開催を提案し、高体連で引き続き検討を依頼することとした。

2 平成10年度叙勲推薦候補者について

選出基準を考慮し、平成10年度より3名を候補者として推薦することで了承。

3 2008年オリンピック候補地の選定について

8月13日のJOCが開催した国内候補都市選定会議に於て、大阪市が決定した報告があった。

4 '97男子世界選手権大会財務・残務整理について

IHFより国際映像放映料の送金があり、為替レートの変動によりマイナスが発生した報告があった。組織委員会決算報告で余剰金の計上があれば、東京事務局経費と合わせ補填請求をする報告があった。

5 強化関連について

蒲生監督就任報告。

第11回女子ジュニア世界選手権大会8位の成績報告。功績をたたえて記念品を贈呈することとした。

日韓スポーツ交流に関して、U－16チームの編成について平成8年度JOCジュニアオリンピック有望選手を優先したメンバーを報告。8月29日より9月4日まで韓国で交流大会を実施していることを報告。

6 国民体育大会関連事項について

日本協会からの大会役員の編成について、日体協国体役員基準で決められており、平成10年第53回大会から、日体協の役員基準で実施する。本年度国体役員を決定。

第53回大会の日程について、神奈川県協会より4種別の決勝戦、3位決定戦を最終日に実施する提案があった。新ルールの実施により試合時間がのびるため、従来の方法では試合消化が無理なため成年男子と少年女子の1回戦を26日の2日目にする報告があり、予め各都道府県協会へ従来通りで開催できない理由を明確に説明し、理解を求める要望書を出すこととした。

7 平成9年度全日本総合選手権大会について

男女分離開催により男子は東京、女子は神戸での実施計画を報告。

男子の東京開催について、実行委員会を設置し、日本協会主導で運営していくことが提案された。関東協会に協力を依頼し、常務理事と実行委員会が協力して資金作りを含め運営する。

次回に予算を検討。

8 第3回ヒロシマ国際大会補助金について

補助金を広島県協会へ支出することで了承。

9 日本協会ホームページ開設について

ホームページ開設費他、費用の予算を了承。

10 その他

(1) JOCよりのドーピング専任担当理事設置の依頼について、ドーピング担当理事を決める方向で検討していくこととした。

(2) 顔面、歯等のケガや虫歯に関するアンケートを実施する報告が医科学委員会よりあった。

(3) オーナー会議について、特別登録金決算報告と次年度選手強化資金の確認のため開催する提案があり、世界選手権組織委員会解散総会時に平行して実施することとし、熊本事務局と調整を行う。

(4) 世界大会後の観客動員について、資金投与対策を考える必要があること、マスコミ対策について意見があった。

※報告事項

1 日本リーグ関連
第101回日本リーグ運営委員会報告
第22回日本リーグポスター紹介

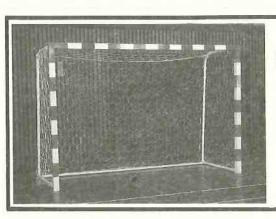
2 普及、指導関連
小学生専門委員会報告
文部省への要望書提出、並びに嘆願報告

3 夏季全国大会報告

第13回女子世界選手権大会 代表メンバー決まる

12月2日からドイツで開催される第13回女子世界選手権大会の日本代表メンバーが別表のように決定した。

代表メンバーは、11月8日から14日まで国内で合宿し、その後ヨーロッパ各地を転戦して11月27日にドイツに入る予定。

日程の詳細並びにメンバーについては表組を参照いただきたい。

第13回女子世界選手権大会日本代表チームの遠征日程

月日(曜)	事業項目	場所
8月-14日(金)	直前強化合宿	栃木日立
15日(土)	成田発 LH711 10:35	スロバキア遠征
16日(日)	トレーニング	於 Komorno(コマールノ)
17日(月)	Sala:日本	
18日(火)	トレーニング	
19日(水)	トレーニング	
20日(木)	Zialne:日本	
21日(金)	チェコ:日本	
22日(土)	チェコ:日本	
23日(日)	スロバキア:日本	ハンガリーへ移動
24日(月)	トレーニング	エゲルビン ファルコトレードカップ(ハンガリー)
25日(火)	ハンガリー:日本	於 Eger(エゲル)
26日(水)	ポーランド:日本	〃
27日(木)	チェコ:日本	ドイツへ移動
30日(金)	ドイツ:日本	予選ラウンドオープニングゲーム
12月-3日(水)	日本:オーストリア	〃
4日(木)	日本:ブラジル	〃
5日(金)	休み	
6日(土)	アンゴラ:日本	〃
7日(日)	ポーランド:日本	〃
9日(火)		8位内決定戦開始
11日(木)		準々決勝戦開始
13日(土)		準決勝戦開始

第13回女子世界選手権大会選手名簿

役職	氏名	所属名	役職	氏名	所属名
団長	中澤　重夫	(財)日本ハンドボール協会	ドクター	大庭　英雄	相模原共同病院
副団長	殿水　幸雄	〃	〃	佐久間克彦	熊本赤十字病院
監督	樫塚　正一	武庫川女子大	トレーナー	陣上　修一	〃
コーチ	西窪　勝広	オムロン	通訳	岩崎みどり	エモック・エンタープライズ
〃	伊藤　宏幸	日立栃木			

	氏名	ふりがな	所属先名	生年月日	身長	体重	出身高校	出身大学	出身地
1	松尾　香代	まつお　かよ	ジャスコ	1972.4.13	171	60	初芝高校	大阪体育大	大阪府
12	山下美智子	やました　みちこ	大和銀行	1976.1.5	177	68	宣真高校		熊本県
16	山口　文子	やまぐち　あやこ	オムロン	1975.10.22	172	69	境高校		鳥取県
2	田村　啓子	たむら　けいこ	オムロン	1972.9.29	166	60	華陵高校	武庫川女大	山口県
4	浦田　万紀	うらた　まき	ジャスコ	1976.8.18	173	65	洛北高校		京都府
5	上出恵美子	かみで　えみこ	北国銀行	1973.5.17	168	60	小松商業高校		石川県
6	松本　恵美	まつもと　えみ	日立栃木	1973.7.6	172	72	国学院栃木高		栃木県
7	青戸あかね	あおと　あかね	イズミ	1974.7.11	164	62	山陽女子高校	東京女体大	広島県
9	杉浦　奈々	すぎはら　なな	オムロン	1973.4.9	158	56	添上高校	武庫川女大	奈良県
10	田中美音子	たなか　みねこ	大和銀行	1975.1.14	160	55	四天王寺高校		大阪府
11	田中美代子	たなか　みよこ	北国銀行	1975.1.19	167	67	小松商高		石川県
13	辻　賀奈子	つじ　かなこ	ジャスコ	1975.2.13	162	58	絡北高校	大阪体育大	京都府
14	田口　順子	たぐち　じゅんこ	日本体育大学	1975.9.26	167	68	松橋高校		熊本県
15	田中由美子	たなか　ゆみこ	北国銀行	1975.7.25	176	68	小松商高校		石川県
17	藤浦　美絵	ふじうら　みえ	大和銀行	1975.12.19	171	70	夙川学院高校		兵庫県
21	佐久川ひとみ	さくがわ　ひとみ	大崎電気	1977.7.21	161	61	浦添高校		沖縄県
	稲吉　希穂	いなよし　きほ	シャトレーゼ	1977.9.28	160	60	水海道二高		茨城県
	隅　幸恵	すみ　さちえ	オムロン	1977.3.21	165	65	岩国商高校		山口県

日韓スポーツ交流事業報告

大西　清志

U－16の計画が奈良県の佐々木英明先生を中心にスタートし、8月11日～17日の国内交流及び、8月29日～9月4日までの韓国遠征が無事終了しました。年度途中の計画で、全てに手探りであったため、決断が自分でできなかったケースが多くありました。

副団長の浜野大助先生、高野郁代女子監督や男子監督であり、まとめ役でもあった佐々木先生にすぐ相談してしまい、困らせた事が数多くあったように思います。特に、韓国を迎えた最初の一週間は、韓国側との連絡が充分とれずに行き違いが多く予定変更も何回かあったことには閉口しました。初日、北は北海道、南は熊本から集まった選手は、自己紹介の時間をとる時間もなくウェアー類を配布され、慌ただしく練習会場に向かい、そこで初めて自己紹介し初練習となりました。今回は最初にこの交流会の意義、日の丸をつける事、背負う事の意味や責任等を話をする時間、選手・スタッフの打ち合わせの時間をしっかりとる事ができずに、選手達にとっては何もわからないまま練習に入ってしまった感が残ります。このことが後々生活面の指導をしないといけない事にも結びついたのかもしれません。次回はスタッフの集合を昼頃にし、充分打ち合わせをしてから選手を夕方に集める等一考が必要です。それと、初日は意識づけ、準備だけで二日目からスタートの方が良いと思われます。

今回のこの事業のおかげで、15才～16才の選手が日の丸をつけることができた事はすごく幸せであり、意義深いものでした。

選手達は、合計二週間の練習、試合、交流で人間的にも、プレーヤーとしても大きく成長したのは間違いありません。

しかし、今回大きな問題点が残されました。U－16という事で日本は準備をしたが、韓国側は事情でU－19でした。韓国側と再三話をしましたが難しいとの事。日本側も前例がないU－16を急きょ編成し準備したのですが…。他の種目の卓球・体操・レスリングがU－16で行えたかどうか調べて考えたいとの事でした。これは来年への課題で日本協会、韓国協会レベルの話し合いになると思います。同じ年齢でもレベルに差があるのに、高校三年と高校一年、中学三年生では勝負になりません。しかし、何回かは勝負には負けているが、すごく内容の良いゲームがあり、驚くほどすばらしいディフェンスを繰り広げ韓国側を慌てさせました。同じメンバーがやっているのかと目を疑ったほどでした。この時は、メンバーを総入れ替えしても同じ様に戦えるのです。ベンチのスタッフ、選手も大興奮！精神面がプレーに大きく影響する事を実感した一戦でありました。

さて、遠征では韓国スタッフが歓迎してくださり、心のこもった接待を受けてきました。

しかし、日程の変更、韓国名物？の大渋滞などには驚きました。

国内での受け入れには、和歌山・大阪・奈良の各府県の協会の方々が力を入れてくださり、良い環境で練習に打ち込めました。ありがとうございました。特に、奈良県の奥田政俊先生は、スタッフとして名前はありませんでしたが、私たちのためにマネージャー役で裏方の仕事に徹してくださり大変助かりました。誌面をお借りしてお礼申し上げます。

アシスタントコーチの井上亮一先生・志賀良弘さん、派遣コーチの笠原利宏先生には大変お世話になり、ありがとうございました。特に、志賀さんには韓国で添乗員・通訳・コーチの3役を押しつけてしまい、我々は大いに助かりましたが、本当に申し訳なかったと思っております。次回は必ず添乗員・通訳をつけてほしいとお願いします。

今回のメンバーから将来の全日本選手が出てくる事を願い、この行事が安定し引き続いて行われるのを期待したいと思います。

逢阪　静男
（大阪体育大学附属中学校教諭）

アンダー16日韓交流が8月11日～17日まで日本で、又、8月29日～9月4日まで韓国（ソウル）で実施された。メンバーは昨年のJOCジュニアオリンピック大会の最優秀選手1名、優秀選手7名、近畿の中学生（奈良1名、大阪4名、兵庫3名）計16名が選出された。メンバー選出にあたっては、各県のブロック大会、全国大会予選と重なってなかなか集まらなかったが、とりあえず第1回という

ことで協力して頂けるところから選出された。
　第1日目は和歌山で集合。その後、紀北農芸高校体育館に移動して玉村コーチの指揮により厳しいトレーニングが開始された。しかし韓国チームは来日できず歓迎会等の予定が中止となった。
　第2日目は和歌山打田町体育館にて、高橋コーチの指揮により、男女共に緊迫した厳しい練習が延々と続いた。午後からはコンビプレーづくりということで自分のプレーを味方に知らす意味もあって紅白戦を行ったが、それぞれ個性の持った選手の集まりであるので、問題点は多く残った。
　第3日目は大阪舞洲体育館に場所を移し、韓国チームは女子全員と、男子2名は来日したが残りは明日ということであった。そこで韓国側コーチの指導により、フットワーク、ステップワーク等を行った。
　第4日目も舞洲体育館で大阪国体の選抜チームと韓国チームと、アンダー16チームで練習マッチが組まれた。しかし参加した韓国選手は高校3年生。スピード、パワー、高度なテクニックをまざまざと見せられた。
　第5日目は奈良県に移動し、生駒総合体育館で、日韓親善交流試合が行われた。この試合では、年齢差、ボールの大きさと、ハンディは明らかであるが、どこまで食い下がれるかである。試合前に佐々木監督からの指示で、ディフェンスでは、相手の身長も大きいのでボールが回ってしまうと止めることが困難なので、早く相手のプレーを切ってしまうように、又、攻撃ではセットプレー等も練習していないので、二人の約束でコンビプレーをすることと、文屋のロングシュートを中心に、猪妻のフェイントからのカットイン、小栗のパワフルなサイドシュート、森下の小技、福田のシャープな動きとするどいシュートなど、自分の持っているものを充分に発揮するようにという指示があったが、韓国チームのスピーディーな攻撃、パスワーク、高い位置からのするどいシュートでなかなか止まらなかった。一方、日本側は、各個人の持ち味はいくらか出せたが及ばなかった。後半は中学生がディフェンス、攻撃でも出場し、ゴールキーパーの川床が大活躍、ディフェンスでは志賀、北埜らがよく頑張り、池永のロングシュート、大木、山田らもよく健闘してゲームを盛り上げた。結局スコアーは15ー26となったが日本チームとしてはレベルの高い、又、能力のある選手と戦うことによって、さらに新しい目標ができ、大変勉強になったことと思われる。
　第6日目は一転して観光の日で、両国チーム共、バスに分乗して法隆寺を見学、厳しいトレーニングから解放された選手達はリラックスした雰囲気で日本文化を学んだ。そして夕刻、さよならパーティーで、両国の選手団長挨拶の後、お互いに歌を交わし合い、より一層の交流を深めることができた。

　韓国チームの帰国の前に、佐々木監督と、パク総監督との間で話し合いが持たれ、8月29日からの訪韓の際には、同じ年齢のメンバーを選出しておいて欲しいとの申し入れを約束したが、空港での迎えは同じメンバーであった。又、練習会場も施設が不足しているのか、準備不足だったのかわからないが、遠く離れた場所にバスで移動して練習を行った。しかし、第4日目の親善試合の時は、協会の関係者も多数出席され、選手達の気合いも違うものが感じられた。さよならパーティーの席にも韓国協会副会長をはじめ、多数の関係者の出席により、このアンダー16、日韓交流をさらに盛り上げ、成功させて次回につなげようという姿

勢が感じられた。

第1回の日韓交流は準備期間もほとんどなく、マニュアルもないため、その対応に苦慮した。又、両国との話し合いの中での行き違いがありうまくいかなかった部分はあったが、第2回目は両国で充分話し合いを持ち、行き違いを解消させ、日本・韓国共にプラスになるような交流をしなければいけないと思う。それと共に日本選手団の中でも、意志統一をはかるための事前の合宿、又、選手の選考会等必要かと思われる。

日本の中学校の現状は、生徒数の減少により、チーム数、人口共に激減している。しかし能力を持ちながら地区大会、都道府県大会で敗れ、そのまま姿を消している者も多いと思われる。こういう選手を見つけ出し、JOC大会、全国大会、アンダー16、次に全日本ジュニア、全日本選手へとつなげていけば、中学生にも新たな夢と希望を持たすことができ、日本のハンドボールも一段と発展し、一環した強化を可能にできると思われる。

高野　郁代

（U－16女子監督・大東中学校）

7月15日に佐々木先生より電話をいただき、今回のU－16女子監督の話を聞きました。正直言って自分のチームのことしか考えていなかった私は、「全国大会があるので引き受けられない」と断りました。話を聞いているうちに他の先生方も同じ理由で断っていると知り、私がやらなければいけないと思い始めていました。それからの毎日は、選手の選考や日程の調整、教育委員会との連絡、日本中体連真田先生との連絡などで大変でした。後日メンバーが決定しましたが、高校生がけがや大会の都合で3名になっていました。私は、「本当にこのメンバーで韓国相手に戦えるのだろうか？」と不安を覚えました。

8月11日和歌山に集合。名前と顔も一致するまもなく練習会場へ。初日ということもあり声も出せず、何度も注意しながらの練習でした。韓国チームの来日が3回に分かれたことや、いろいろな手違いで非常に神経を使いました。また韓国チームは高校3年生ということで、日本のメンバーは合同練習でも萎縮しており、歯がゆい思いでいました。しかし日が経つにつれメンバーも積極的になり、交流試合では谷口（大東中）が思いきりロングシュートを打ち、19点中11点を決め、後半にはマンツーマンをつけられ、これならもしかしてやれるのでは…という期待をもち始めました。解散の時に、「各自練習をしておくように」と

■日韓スポーツ交流事業［全日本男子（U－16）選手名簿］

受入（8月11日～17日　和歌山・大阪・奈良）
派遣（8月29日～9月4日　韓国）

スタッフ

役　職	氏　名	所　属　先
団　長	真田　元	市立野庭中学校（受入れ）
副団長	浜野　大助	市立野田中学校（派遣）
監　督	佐々木英明	上中学校
コーチ	逢阪　静男	大体大付中学校
〃	高橋　精一	桃山学院高校（受入れ）
〃	大房　重則	高岡向陵高校（派遣）
〃	玉村　健次	湧永製薬

プレーヤー

氏　名	ふりがな	所属先名	生年月日	身長	体重	出身地
1 山下　孝	やました たけし	大分電波高校	1981.4.22	181	98	大阪府
2 猪妻　正浩	いずま まさかつ	此花学院高校	1981.6.12	177	62	大阪府
3 渡辺　正希	わたなべ まさき	〃	1981.6.1	172	64	大阪府
4 小栗　嘉彦	おぐり よしひこ	春日井南高校	1982.2.19	174	79	愛知県
5 福田　拓馬	ふくだ たくま	高岡向陵高校	1982.2.26	180	70	愛知県
6 森下慎太郎	もりしたしんたろう	天草工業高校	1981.9.16	163	60	熊本県
7 浜田　崇	はまだ たかし	浦和学院高校	1981.6.30	175	58	北海道
8 文屋　晴暁	ぶんや はるあき	盛岡第一高校	1981.10.13	184	77	岩手県
9 志賀　勇亮	しが ゆうすけ	高石中学校	1982.8.10	184	70	大阪府
10 池永　勇気	いけなが ゆうき	大体大付中学校	1982.5.16	175	70	大阪府
11 北埜　健太	きたの けんた	〃	1982.7.20	167	63	大阪府
12 川床　充弘	かわとこ みつひろ	高石中学校	1983.2.9	182	70	大阪府
13 大木麻左毅	おおき まさき	緑ヶ丘中学校	1982.8.19	178	71	奈良県
14 山田　政延	やまだ まさのぶ	魚住東中学校	1982.5.10	171	61	兵庫県
15 森　一紘	もり かずひろ	望海中学校	1982.11.23	174	58	兵庫県
16 伊藤　直樹	いとう なおき	望海中学校	1982.12.4	176	75	兵庫県

指示をしました。全てが初めてということで、たくさんの方々にご迷惑をおかけしましたことを、この場をかりてお詫び致します。

韓国の来日1週間で、練習内容はほとんど変わらないが全てスピードが全然違うこと、全員のステップが正確であることなどを痛感しました。しかし、練習に対する姿勢などについては納得できない面も見られました。

訪韓に向けて28日に集合。メンバーにとっては初めての海外と言うこともあり、合宿では消灯時間から注意をするなど大切な生徒をあずかっている責任もあり細かい点からの指導が必要でした。ただメンバーに自覚があったかどうかは疑問でした。奈良の旅館でU－16の意義や責任などについて私なりに話をしてはありましたが、それがメンバーに浸透していませんでした。このような状態でも韓国に勝つつもりで行きました。次の日から合同練習に入りましたが、初日は、ばてており、ついていくのがやっとでした。それでも少しずつスピードにも慣れてきて、練習試合では貞信女子中学校と引き分け、韓国のU－18のチームと素晴らしいゲームをしました。その時のメンバーは、フットワークで前に出て守り、170センチ台の上から158センチの選手がジャンプ、ステップ、アンダー、フェイントなど自由自在にプレーするなどベンチも総立ちでした。メンバーを入れ替えても勢いは衰えず、ハンドボールは技術だけではなく気持ちでどうにでもなるものだと言うことを改めて思い起こさせてくれました。本当に「スゴイ！」の一言でした。技術の差は歴然としていても韓国相手に「ここまでできた！」という自信はメンバーにとってかけがえのない財産になったことでしょう。私自身にとってもこのゲームは、いろいろなことを勉強させてくれました。また、選手の可能性と素晴らしさを感じさせてくれました。それまで描いていた選手のイメージが全く変わったのも事実でした。

私が今回得た宝物は、メンバーとスタッフとの出会いでした。たった2週間のチームでしたが本気になって叱れたし、本気になって喜び合うことができ、帰国する頃にはメンバー全員がとても好きになり、別れが辛くなっていました。帰ってから宿題にしていた作文が届き、どんなことを考えながら参加していたか、どんなに不安だったか、何を得たか良くわかり涙がでてきました。やって良かったと心から思えた瞬間でした。「やって良かった！」たくさんの方々の熱意で行われたU－16が今後少しでもハンドボール界にプラスになっ

■日韓スポーツ交流事業［全日本女子(U-16)選手名簿］

スタッフ

役　職	氏　名	所　属　先
監　督	高野　郁代	大東中学校
コーチ	大西　清志	大久保中学校
〃	井上　亮一	夙川学院高校(派遣)
〃	笠原　利宏	昭和学院高校(受入れ)
〃	志賀　良弘	大和銀行

プレーヤー

氏　名	ふりがな	所属先名	生年月日	身長	体重	出身地
1 竹林　千秋	たけばやし ちあき	氷見南部中学校	1982.6.21	163	53	富山県
2 木下　知香	きのした ちか	大東中学校	1982.10.2	158	50	福井県
3 南部　千晶	なんぶ ちあき	〃	1982.7.14	160	50	福井県
4 前畑美由紀	まえはた みゆき	夙川学院高校	1981.8.23	160	48	福井県
5 向井　華代	むかい かよ	大谷中学校	1982.11.23	165	56	大阪府
6 武井　夏紀	たけい なつき	水海道第二高校	1981.6.25	167	64	茨城県
7 林　　里絵	はやし りえ	大谷中学校	1982.11.30	166	55	大阪府
8 加藤　恵理	かとう えり	暁高校	1981.9.27	175	60	三重県
9 一橋　智子	ひとつばし ともこ	大谷中学校	1982.8.17	158	47	大阪府
10 谷口　尚代	たにぐち なおよ	大東中学校	1982.5.9	183	64	福井県
11 田中　美晴	たなか みはる	横尾中学校	1983.3.16	164	52	兵庫県
12 森山　沙智	もりやま さち	衣川中学校	1982.8.13	128	62	兵庫県
13 田中　沙季	たなか さき	衣川中学校	1982.4.17	159	46	兵庫県
14 増本　聖佳	ますもと きよか	大久保北中学校	1982.7.26	168	52	兵庫県
15 谷本　　碧	たにもと みどり	上中学校	1982.5.21	159	55	奈良県
16 榎本　奈扇	えのもと なみ	岩出中学校	1982.9.20	167	52	和歌山県

てくれたら本当にうれしく思います。メンバーもこれからハンドを続けていくと思いますが、辛いときあのゲームを思い出してくれたらきっと頑張れると思います。

最後になりましたが、チーム事情もありながら参加させて下さった各監督の先生方本当にありがとうございました。そして、U－16が実現するためにご尽力いただいた方々、たくさんのスタッフの方々心からお礼申し上げます。

前畑美由紀（夙川学院高校）

私は、たった2週間という日韓交流の中でいろんなことを学ぶことができました。

初めに、始めてキャプテンという重大な役にあたりたくさんのとまどいや不安がありました。でも1日1日が過ぎていくにつれどういうことをしなければならないのかということを覚えることができました。ほかには何をしたらいいかわからない時は、みんなで自分の事を助けてくれて本当に良い人達に会えてよかったと思いました。

次に学べた事は、練習中や試合中など、どんな場面でも、チームが一丸となってまとまった時には、今まで以上のムードのもりあがりさと、自分の力を出しきってプレーができるという事です。どんなに相手が強かろうが弱かろうがいつもつねに自分のもっている力をだしきれば絶対にいい試合ができるということを先生とあの仲間で実感できたことが本当にうれしく思います。またこうした経験を、自分のチームにかえって少しでもプラスになるようにがんばらなければならないと思います。

次に一番に大事なことを学びました。そのこととは、日本の代表として、どれだけ自分達ががんばらなければならないのかということです。初めはすごく日本の代表選手として重荷でした。しかし、日韓交流に選ばれていて、本当はすごくきたかったのにこれなかった人のことを思ったらやっぱり自分達がその人達の分までがんばらないと、と思い一度もいやだと思わずがんばりました。しかし自分は全然チームのことをまとめることができず、先生に迷惑をかける一方で日の丸をつけているということがはずかしく思う時もありました。でもやっぱり最後には、良いことの方が学ぶことが多くて自分のためには行って良かったと思いました。

一生の中での自分の思い出にすごい経験の思い出を記すことができて本当にうれしく思います。それも全部高野先生のおかげだと思っています。

これから先の自分を今まで以上にもっともっとみがいて、日本の代表だったということを忘れずがんばらなければならないと思います。そして自分達のチームに戻りこの経験を生かしてぜひ全国制覇を目指しどこにも負けない強いチームになってみせようと思います。

最後に、高野先生を始めとしスタッフの先生方、2週間の間本当に苦労や迷惑をかけ本当にすいませんでした。たよりなかったキャプテンでしたが本当に最後までよく見てくれて本当にありがとうございました。またこれから先このことをよき思い出としこれからの経験に重ねていこうと思います。

谷本　碧（上中学校）

今回の合宿の2週間お世話になりました。

私はこの日本代表のチームに選ばれたと聞いたとき、「何で選ばれたんだろう。日本代表のチームでやっていけるんだろうか。足をひっぱるんじゃないか。怖い」などとばかり考えていて、「うれしい」という気持ちより大きくなっていってビクビクばかりしていました。しかも日本での合宿で谷口さんを見たときには、自分は場違いの人間なんじゃないかと改めて自覚してしまい、自分を悲観的に見てばかりいました。今だから言えることだけれどとてもつらかったです。そして何よりこの気持ちが表になって出てしまったのが、日本の最後に親善試合をしたときです。試合の後半に高野先生に呼ばれて、「どっちのサイドをやっていた?」と聞かれたとき、とっさに出た言葉が、「私はサイドをやったことありません。」だったと思います。これは別にするのがいやだったとかそういうのじゃなかったのですが、ここで私の弱さがぞんぶんに発揮されたと思います。多分、先生もあきれただろうと思います。この後とても後悔しました。だから、この韓国遠征は絶対後悔だけはしまいと心に決めました。そして、私なりに体の底からがんばれました。そのことが私のプラスとなったのか、何かメラメラと背後が熱かったです。

韓国で、今まで生きてきて一番うれしいことがありました。それは自分のシュートがはいったことです。試合に出させてもらう前から応援で気持ちが高ぶっていたときに出たので、絶対シュートをきめてやると闘争心バリバリの状態でした。1本目に打ったシュートでは、ただシュートをしたいという気持ちだけでした。たぶん普通のときなら無難にパスをしていたと思います。実際シュートするにはあまりに角度がありませんでした。ですから、シュートがはいったということにとてもびっくりしてしまいました。いつもいじいじしていた自分がばからしくなるぐらい、何かがふっきれたみたいでした。どんなに確率が低くても絶対0パーセントにはならないんだと思いました。それが周りからはまぐれだと言われたとしても、私にとってハンド生活の中で何よりのシュートです。自分はいつも臆病で、怖いものから逃げることばかり考えていたけれど、前へ進め!と号令がこのとき出たようでした。今なら何でもできるかもと思ってしまいました。

この合宿は私の中（人生の中）で、一番の恐怖と一番の感動をくれました。一度にきたのでもったいない気もしますが。

これから先、何回も壁にぶつかることがあると思うけれど、前に進むことだけを考えていきたいです。そして、前の自分にだけはもどらないようにしたいです。

日本代表という大きな存在で、韓国に行かせていただいてありがとうございました。おかげで一生の財産をつくることができました。

男子は、混戦模様、東日本勢のタイトル奪還なるか
女子は、東女体大の5連覇か、武庫川女大・筑波大・大体大・日体大が紙一重で追う展開

平成9年度学生日本一を決定する全日本学生ハンドボール選手権大会は、11月12日(水)より16日(日)まで、川崎とどろきアリーナを主要会場(女子1回戦一部川崎市立体育館使用)に、男子32大学・女子24大学が集い、トーナメント方式によって、大学日本一が争われる。

会場確保の困難さ・競技役員の確保・その他の諸般の事情から、本年度からは、従来の予選トーナメント・準決勝リーグ・順位決定戦の競技方式から、トーナメント方式に、また、大会期間も6日間から5日間に変更されての大会となっている。

参加資格は、男子が東西学生選手権大会上位各8大学・インカレ出場決定戦勝利大学各4大学・各地区学連推薦各1大学の合計32大学、女子は、東西学生選手権大会予選リーグ各2位までの大学と、各地区学連推薦各1大学の合計24大学である。

組み合わせ抽選は、従来通り東西学生選手権大会の上位各4大学をシードし、1回戦は東西対戦となっているが、本年度から第一ゾーンと第二ゾーンに同一学連所属大学が入らないように配慮した後は、フリー抽選となっている。

男子

男子は、抽選の結果、第一ゾーンの第二シード日体大のブロック(9～16)を除き、何処が上位進出するか、1回戦から注目される対戦が見られる。

第一シードの関西秋季リーグ1位大体大のブロックには、福岡大(秋季リーグ1位)・名城大(東海秋季リーグ2位)・中央大(関東秋季リーグ2位)・今秋一部に復帰したばかりで5位になった法政大と好調大学がそろっており注目のブロックである。

大体大は、春季リーグでは不覚を取ったが、西日本・秋季リーグは細谷(香川中央)のゲームメイクから小林(小松工)・竹下(育英)の両45℃と、下川(北陽)、北田(此花)のスピードのあるサイドを擁して覇権を握り、チーム力も上向き連覇をねらっている。

名城大は、宮城(興南)・山下(小松明峰)・本多(岡崎城西)・北出(同)などを擁してバランスの良い攻めを見せており、西日本でも福岡大と引き分けるなどの力はあり、秋季リーグを制しチーム力は上向いている。法政大は、故障者が回復し一部復帰の秋季リーグで、ゲームメーカー紅林(浦和学院)の好リードで早稲田に勝ち、日体大と引き分けるなど、全員ハンドで5位となっており、名城大対法政大のどちらかが上がっても2回戦での大体大相手の勝負が面白い。福岡大は、GK谷川(久工大付)の好守と、佐々木(長崎日大)・宇多村(大分電波)・植木(同)などの攻撃力で安定したチーム力を見せ秋季リーグで優勝、上位進出初優勝をねらっている。中央大は、小薮(桃山学院)の好リードから攻撃力に厚みが出ているが、調子の波が大きいので、波に乗れると上位進出もあるが安定性で福岡大か。ベスト8へは何処が出てくるか予断は許されないが、一発勝負に強く試合巧者の大体大が、ベスト4へ進出か。

第二シードの日体大のブロックは、佐々木(全日本・拓大一)・田場(全日本学生・興南)・窪小谷(学法石川)・小倉(霞ケ浦)の高さと田中(全日本学生・伊奈)の巧技で、パワフルな攻撃力を見せている日体大がベスト4進出か。これを、池浦(香川中央)などの活躍で西日本でシード権を獲得した広島大や中部大がどう追うか。

第二シードの大経大のブロックは、1回戦の中京大対順天堂、京産大対日本大の勝者と大経大がベスト4進出の対戦が注目されるが、秋季リーグを浅浦(北陽)の活躍で2位に進出した京産大が、GK吉井を要に堅い守りの日本大戦を乗り切るとベスト8進出も見えるが、ベスト4は、土坂(高岡向陵)・今宮(育英)などの活躍があると大経大もあるが何処が出てくるか全く予想が難しい。

第一シードの国士館のブロックは、筑波大・早稲田・国士館の関東勢と東和大のベスト4進出をかけた争いが注目される。国士館は、東日本1位ではあるが、秋季リーグでは、谷(横浜商工)・坂下(仙台育英)の故障欠場で岩本(全日本学生・下松工)一人に頼る形となり、攻撃力が半減して入替戦行きとなるなどチーム力低下が目につくが、本来の力はあり、谷の回復でチーム力は上向いている。筑波大は、前島(城山)・小川(小松工)・古家(桃山)・池田(福岡)などの速い動きと基本に忠実なディフェンスで、秋季リーグを6勝1敗で制しているが、この1敗は苦手早稲田に喫したものであり、その両大学が、2回戦で対戦する。早稲田は、所(香川中央)の好リードから高田(同)・武藤(盛岡一高)のフローターに、栃谷(富岡)・杉田(盛岡一高)の両サイドが多彩にからみ、リーグ1の攻撃力を見せているが、GK黒川(香川中央)の堅守があるがディフェンス面でやや安定性を欠き、下位チームに取りこぼし優勝を逃している。しかし、順当ならば現在のチーム力から見ると、筑波大対早稲田の勝者がベスト4進出か。

ベスト4進出は、大体大(福岡大)対日体大・大経大(日本大)対早稲田(筑波大)か。大体大対日体大はスピードとパワーの好対象のチームカラーの対戦となるが、立ち上がりに試合巧者の大体大が先行すれば面白い。大経大対早稲田も大経大が先行すれば展開が変わってくるが、何処からでも点の取れる早稲田か。大経大対筑波大も安定性のある筑波大か。決勝戦は大体大対早稲田(筑波大)・日体大対早稲田(筑波大)が予想されるが、その日の調子如何という状況であり、全く行方はわからない混戦大会と言える。

宮杯 学生選手権大会

第40回男子の部

試合	日	対戦
1	12日	大阪体育大（西）1 − 金沢工業大（東）2
2	12日	名城大学（西）3 − 法政大学（東）4
3	12日	福岡大学（西）5 − 仙台大学（東）6
4	12日	沖縄国際大（西）7 − 中央大学（東）8
5	12日	広島大学（西）9 − 慶應大学（東）10
6	12日	中部大学（西）11 − 東海大学（東）12
7	12日	桃山学院大（西）13 − 道都大学（東）14
8	12日	同志社大学（西）15 − 日本体育大（東）16
9	12日	17（西）大阪経済大 − 18（東）函館大学
10	12日	19（西）中京大学 − 20（東）順天堂大学
11	12日	21（西）愛知学院大 − 22（東）東北福祉大
12	12日	23（西）京都産業大 − 24（東）日本大学
13	12日	25（西）東和大学 − 26（東）筑波大学
14	12日	27（西）福岡教育大 − 28（東）早稲田大学
15	12日	29（西）広島経済大 − 30（東）拓殖大学
16	12日	31（西）近畿大学 − 32（東）国士舘大

試合	日	対戦
17	13日	1の勝者 − 2の勝者
18	13日	3の勝者 − 4の勝者
19	13日	5の勝者 − 6の勝者
20	13日	7の勝者 − 8の勝者
21	13日	9の勝者 − 10の勝者
22	13日	11の勝者 − 12の勝者
23	13日	13の勝者 − 14の勝者
24	13日	15の勝者 − 16の勝者
25	14日	17の勝者 − 18の勝者
26	14日	19の勝者 − 20の勝者
27	14日	21の勝者 − 22の勝者
28	14日	23の勝者 − 24の勝者
29	15日	25の勝者 − 26の勝者
30	15日	27の勝者 − 28の勝者

試合	日	対戦
決勝戦 31	16日	29の勝者 − 30の勝者
32	16日	※準決勝敗退大学による全日本総合出場決定戦

女子

女子は、東西学生選手権が順当な結果に終わりシード大学がそれぞれのポジションに入っており、ベスト8までは順当か。

ベスト4進出は、東女体大・武庫川女大・筑波大は順当か。しかし、第二ゾーン第一シード大体大と日体大の対戦が注目される。大体大は、GK田中（洛北）の好守から田中絹（同）・當山（コザ）・橋本（洛北）で早い攻めを見せ、安定したチーム力で西日本・秋季リーグで優勝しており、インカレ初優勝の期待も持てる。日体大はGK細谷（大曲農）の守りから田口（全日本・松橋）を中心に治島（向陽）・坂本（東海女子）の両サイドを絡ませた速攻がポイントになっているが、秋季リーグは後半に入りやっとペースをつかみ、優勝した東女体大に競っており、インカレの日体大と言われ、リーグは不振でもインカレでは常に上位に進出しており、伝統の試合巧者だけに調子に乗ると面白いが総合力で大体大がやや有利か。

準決勝は、東女体大対武庫川女大・筑波大対大体大（日体大）か。東女体大対武庫川女大は、児島（名短付高）のゲームメイクから山口（全日本学生・栃木女子）・板谷（大曲農）の両フローターに進境著しいポスト樺沢（埼玉栄）の活躍で秋季リーグ優勝の東女体大に、橋詰（宣真）・重久（那覇西）・三輪田（名短付高）・大石（暁）などの早い攻撃陣を持つ武庫川女大がどう挑むか。セットプレーに勝る安定性で東女体大か。

筑波大対大体大は、筑波大が、新人山田（名短付高）のゲームメイクで岡野（全日本学生・水海道二）・村上（福井商）のフローターとポスト斉藤（宣真）をうまく使った攻撃を見せているが、下級生が中心で追い込まれた時にややペースを乱し、秋季リーグでは東女体大にそこをつかれて敗退、調子に乗ればパワーのある筑波大と言えるが、ここ2年、優勝候補の一角を占め

第33回女子の部　高松

平成９年度全日本

ながら１回戦で敗退しており、安定性では大体大か。筑波大対日体大となると秋季リーグの再戦となるが、試合巧者の日体大も苦戦か。

決勝戦は東西決戦か、準決勝次第では西日本勢同士・東日本勢同士の対戦も予想されるが現在のチームの安定度からすると東女体大対大体大か。

５連覇のかかった東女体大が巧者振りを発揮して安定した試合展開に持ち込めるか、大体大の早い攻撃が東女体大ディフェンスを崩して、初優勝を勝ち取るか注目される。

男女共にトーナメントの一発勝負であり、波乱も予想される。

番号	大学	地区
1	東京女子大学	東
2	沖縄国際大学	西
3	日本女子体育大学	東
4	関西女子短期大学	西
5	東北福祉大学	東
6	中京女子大学	西
7	茨城大学	東
8	福岡教育大学	西
9	東海大学	東
10	広島大学	西
11	北海道女子大学	東
12	武庫川女子大学	西
13	筑波大学	東
14	大阪教育大学	西
15	秋田大学	東
16	天理大学	西
17	仁愛女子短期大学	東
18	福岡大学	西
19	日本体育大学	東
20	中京[illegible]	西
21	国士館大学	東
22	岡山県立大学	西
23	聖徳大学	東
24	大阪体育大学	西

試合	日	対戦
ア	12日	2 対 3
イ	12日	4 対 5
ウ	12日	8 対 9
エ	12日	10 対 11
オ	12日	14 対 15
カ	12日	16 対 17
キ	12日	20 対 21
ク	12日	22 対 23
ケ	13日	1 対 ア
コ	13日	イ 対 6
サ	13日	7 対 ウ
シ	13日	エ 対 12
ス	13日	13 対 オ
セ	13日	カ 対 18
ソ	13日	19 対 キ
タ	13日	ク 対 24
チ	14日	ケ 対 コ
ツ	14日	サ 対 シ
テ	14日	ス 対 セ
ト	14日	ソ 対 タ
ナ	15日	チ 対 ツ
ニ	15日	テ 対 ト
決勝戦 ヌ	16日	ナ 対 ニ

燃えてはばたけ

第26回全国中学校ハンドボール大会を終えて

黒潮たぎる土佐路の空に

真田　元
（日本中学校体育連盟ハンドボール部部長）

第26回、全国中学校ハンドボール大会は「燃えてはばたけ　黒潮たぎる土佐路の空に」のスローガンのもと、8月22日より4日間「高知県立春野総合運動公園体育館」で中学校チャンピオンを目指す男女各20チームによって熱戦が展開された。

全国大会運営の基本（基本的性格）にもあるように、「現在および将来の生活をより豊かにする身体の技能と体力づくりをめざした大会」を目標とした大会運営も、本年度もその成果が表れ、1回戦からすばらしい好ゲームが展開された。

全国9ブロックの厳しい予選を勝ち抜いてきた精鋭だけに当然かもしれないが、選手のコート上のマナー、応援の父母の観戦、応援態度も良好であった。

チーム役員、特に監督の先生方の日夜を惜しまぬ情熱あふれる指導の賜物と深く敬意を表したい。

今大会を振り返ってみると、

1回戦「女子」
・大淀中（大阪）対　明野中（大分）

1回戦「男子」
・丸山中（兵庫）対　朝明中（三重）

2回戦「女子」
・国立第二中（東京）対　小杉中（富山）
・大東（福井）対　西中（茨城）
・下松（山口）対　日枝中（岐阜）

2回戦「男子」
・南部中（富山）対　大塚中（愛知）
・北部中（富山）対　大体大附（大阪）

準決勝「女子」
・仲西中（沖縄）対　小杉中（富山）

準決勝「男子」
・神森中（沖縄）対　小林中（宮崎）
・浦西（沖縄）対　西中（茨城）

は前半から1点を争う好ゲームが展開された。惜しくも敗れたチームにもかなりの力量が感じられた。

女子・決勝、男子・決勝ともチームの持ち味を充分に発揮し、好ゲームがくりひろげられた。女子の大増中は1回戦こそ、初戦の硬さがみられミスの多いゲームであったが、キャプテン千葉さんを中心としたチームワークで1戦毎に力強さをみせた。男子の神森中は、前半4点リードの西中を残り1分で逆転し勝利をおさめたもので、神森中のプレスデフェンスが最後まで息切れせず効をそうした。

全国中学校のチャンピオンに輝いた、女子・埼玉県春日部市立大増中学校、男子・沖縄県浦添市立神森中学校には心から賞賛したい。

全体的に見ると、

第1点、本年は、力強くデフェンスの上から打ち抜くプレーヤーが少なかった。

第2点、チームとしてのスピーディーなコンビネーション、攻防のバランス、ミスの少なさ等が勝敗を決めているように感じられた。

特に、ベスト4のチーム力・選手個人としての力量は高校生に勝るとも劣らないものであり、また、惜しくも初戦で敗れたチームにもキラリとひかるすばらしい個性の選手が見られ、12月に開催されるJOC大会での活躍を今から楽しみにしたいと思う。

終わりに、本大会を開催するにあたり、多大なご指導、ご援助をいただきました関係機関団体、役員の先生方及び補助員の生徒諸君に心より感謝を申し上げ総評とします。

岡本　憲和

（高知県中学校体育連盟ハンドボール専門部長）

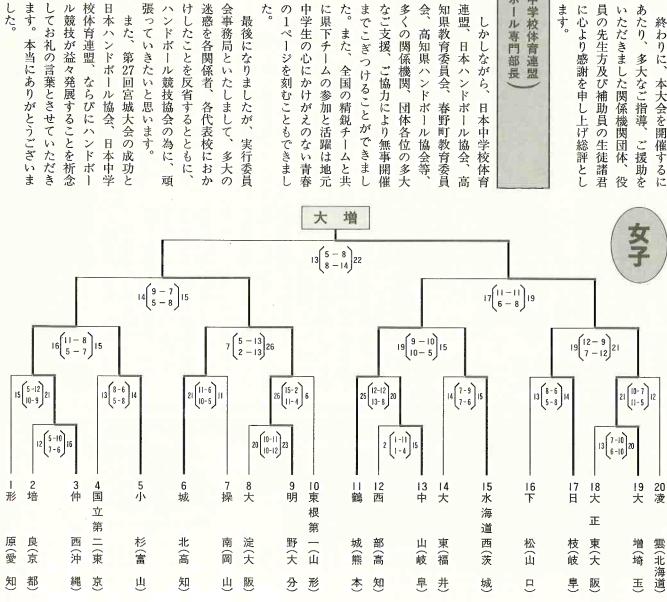
平成9年全国中学校体育大会、第26回全国中学校ハンドボール大会が、「燃えてはばたけ　黒潮たぎる土佐路の空に」のスローガンのもと、8月22日から4日間、全国9ブロックの代表40チーム・582名の選手が参加し、高知県立春野総合運動公園体育館で開催され、無事終了することができました。

高知県では、平成元年にインターハイを開催はしていますが中学校の全国大会は、初めての経験であり参考資料もなく不安な中での準備期間でした。競技力の面においても高知県中学校のハンドボールは、男子が過去に3回全国大会に出場したことがあるだけで、女子においては、四国の壁を突破することができない状態でした。それだけにこれを機会に少しでも競技力を向上させ全国レベルに近づけたいという意気込みと、全国大会で勝てるだろうかといった不安も抱えながらの開催でした。

しかしながら、日本中学校体育連盟、日本ハンドボール協会、高知県教育委員会、春野町教育委員会、高知県ハンドボール協会等、多くの関係機関、団体各位の多大なご支援、ご協力により無事開催までこぎつけることができました。また、全国の精鋭チームと共に県下チームの参加と活躍は地元中学生の心にかけがえのない青春の1ページを刻むこともできました。

最後になりましたが、実行委員会事務局といたしまして、多大の迷惑を各関係者、各代表校におかけしたことを反省するとともに、ハンドボール競技協会の為に、頑張っていきたいと思います。

また、第27回宮城大会の成功と日本ハンドボール協会、日本中学校体育連盟、ならびにハンドボール競技が益々発展することを祈念してお礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

第5回韓・中・日ジュニア交流競技会報告書

日本ハンドボール協会（連盟）代表・団長　北岡大覚

◆**大会全体的な感想**

7月24日大阪・関西ホテルで集合して、日本協会より選手団へスポーツジャージ、交流試合での交換ワッペン・バッチなど配布があった。今大会から日本選手団としてのジャージが用意されて大変良かったが、サイズの合わない選手がいた為か日本チームとして移動の時だけはジャージを必ず着用することであった。

団長会議で大まかなスケジュールしか分からず、現地に行き予定が分かるということで、不安であった。

宿泊先のSUANBO　HOTELは、忠州の郊外、山の中の静かな温泉地で建物の中が広くゆっくりしていて良かった。しかし、温泉という大浴場はなく3000Wのサウナで有料だった(がっかり)。

競技は8月26日から始まったが、ハンドボール競技は27日・28日が試合で、忠州市の街で買い物などゆとりのある時間がとれなかった（試合がバスケットボール競技が終わった後の忠州体育館での交流試合であったため、夜も時間がなかった)。交流試合が終わってから、ゆっくりとしたフリータイムの1日が欲しかった。

29日は、韓国以外の国のチームである中国・日本チーム合同の観光であったが、ハンドボール交流をした相手チームの参加はなく今回、中国は交流競技会に参加せず）、バスはソフトテニスと合同乗車で、通訳の方がソフトテニスの方(2名)であったので、民族村(旧家保存）や鍾乳洞窟、そして、天合宗神社など、説明がなく黙って黙々と歩き、勝手な憶測をして過ごし、また、バスの車中でも通訳がソフトテニスとしかコミュニケーションがとれず、長い1日のバスの旅であった。国際交流を行う機会など全くない観光旅行であった。韓国に来て交流試合が主であるのは当然だが、「韓国はどうだった」と聞かれたときに田舎の忠州市郊外の事しか答える事がなく、もっと韓国の現実を知りたかった。帰るまでに首都ソウルも歩いて多くの事を感じ知りたかった。

試合のない1日目に韓国が用意してくれた練習会場に行ったが、ゴールポストにゴールネットがなくゴールポストは使えなかった。

忠州商業高校の体育の先生が「市役所から運んできたので分からない、この学校にはハンドボール部がないので貸し出すゴールネットは勿論ない」ということであった。シュート練習や攻防練習ができず基本的なトレーニングしかできなかった。

競技会運営交渉は、交流試合のみの交渉しかしていないのではないだろうか？　改善が望まれる。

試合については、4試合ともどちらが勝つか分からない白熱したクロスゲームであった。試合終了の10分前あたりから反則判定がベンチとしては予測できず、勝てる流れの試合に勝つ事ができなかった。

今回の韓国・中国・日本ジュニア交流競技会のハンドボール競技については、中国の参加がなく大変残念であった。交流対戦した韓国のチームは、高校No.1のチームではなく、韓国レベルの力で、どのレベルか分からないが、世界一の競技実力レベルから考えてみると、「二～三流のチームではなかったのかなあ」と思う。各国からNo.1を出場させる大会と聞いていたが、派遣チームについては今後検討した方がよいと思われる。

今回初めて韓国・中国・日本ジュニア交流会に参加させてもらったが、移動に無駄な時間がかかりすぎたと思う。日本の団体（チーム）として9種目の競技役員選手多数が一緒に移動する為のチェック、また、連絡事項の確認などに手間取り次の行動に移る為には時間がかかりすぎていた。親善交流試合のためなら種目ごとで、それぞれで行えば効率よく大会日程を、7日間を余裕を持ってこなせると思った。日本体育協会本部で少人数移動を検討されてはいかがでしょうか？

今回は中国の選手がハンドボール競技に参加されなかった事は誠に残念でした。

◆**交流試合（8月27日）**

男子

日本（久留米工大付属高校）　25（12－14／13－13）27　韓国（大光高校）

立ち上がり得点先行されるが前半15分までは同点が続きシーソーゲーム、20分までの5分間に7－9と2点差を付けられたのが最後まで響いた。後半の10分過ぎに3番江崎、6番田中が2分間の退場

をとられ4点を連取されて17－22と5点差、残り10分を猛烈に追い上げたがとどかなかった。勝負処がどこでやってくるかという一進一退のゲームだっただけに、韓国の審判による判定退場に勝負をかける芽を摘み取られた感が印象として残った。

女子

日本（宣真高校）　18（8－10／10－13）23　韓国（天安工高校）

ゲームから遠ざかっていた為か、2点連取されて目が覚めた感じ、すぐに3点連取して3－2と逆転、その後一進一退で同点の競り合いでゲームが進むが、15分過ぎにポストプレーで4連続得点を取られ残り4分前に10－5とされたが、GK三原のファインプレーからの速攻で3点を連取、2点差で折り返した。後半、5分過ぎに韓国6番が2分退場中に得点できず、逆に2点を取られる。残り15分間は相手をうわまわる攻めをしたが5点差の結果で終わった。ただ、終了3分前に17－21で追い上げ、勝負をかけていた時、相手7mスローをGK三原の顔面にぶつけられたのに反則なし。試合を左右されてしまったような印象を持った。

◆交流試合（8月28日）

男子

日本（久留米工大付属高校）　26（14－16／12－12）28　韓国（清洲機械工高校）

立ち上がり5分間は3－3で日本が先行するが、3連取されてからは2点を追いかける試合展開となる。15分過ぎに5点取られて1点しか返せなかったが、残り7分で逆に6－3と跳ね返し前半2点差で折り返す。後半立ち上がりから2点差を1点差に追いつめ10分過ぎ20－20の同点となり、逆転するムードになっている時、ポストのバックチャージを見逃され7mスローをとられる。残り8分、1点差の時、またポストでバックチャージを守った2番田中が退場をとられる。その間速攻で2点連取で23－23の同点、最後まで競り合ったが残り2分にまたポストでバックチャージからのシュートを得点にされ、涙を飲んだ。

女子

日本（宣真高校）　20（11－8／9－9）17　韓国（一信女高校）

試合の立ち上がり先行され心配されたが、ナイス防御が続き速攻などを織り混ぜ6点連取7－2の5点差とした。残り5分に8－7と1点差に追いつめられたが、3点を加点して3点差で後半に折り返す。後半すぐに3番森本が退場をとられ嫌なムード、10分過ぎには14－12の2点差、その後差を開き4点差とするが、残り10分から7mスローを5回も判定され、GK三原はその内2本を大事な時に好捕、8番松山のポストシュート3得点で逃げきった。

'97ジャパンカップ
ニュールールでの審判をして

国際審判員、ルール研究委員会委員長
後藤　登

8月29日から31日迄の3日間、横浜文化体育館と船橋アリーナの2会場において、日本男女ナショナルチームと23才以下のナショナルに加え、ドイツ、韓国、そして中国のクラブチームを招き、'97ジャパンカップが開かれた。本大会は国際大会ということで、日本ハンドボール協会は、8月1日よりIHFで施行されているニュールールで実施することを決定した。

審判委員会では大会開催に先立ち、8月26日、27日の両日、大会参加レフェリーと本大会審判長の斉藤実審判委員会副委員長、それに加藤雅之審判審査指導委員長を交え、大崎電気工業体育館を中心に、ニュールールの理論・実技研修を行った。

26日は、IHFの審判委員会が作成した、ニュールールの解説VTRを見ながら、問題点や、疑問点について話し合った。話の中心は、スローオフの実施の際、どこまで正確に行わせるか。シュートを打ったプレイヤーが、得点の後にコートに残っている時に、何方のレフェリーが、スローオフの笛を吹くか等であった。

27日は、女子ナショナルチームと23才以下のナショナル、それに大崎電気との練習試合をニュールールで行い、本番に備えた。

本大会では3試合を担当したが、予想以上に、レフェリー、プレイヤー共に違和感はなく、スムーズにゲームの運営ができた。中には、新しいルールで行っていることさえ分からずに観戦している観衆もいた。

ニュールールでは、7mスローの判定をする度に、必ずタイムアウトをとらなければならない。我々のペアは、事前に、7mスローの判定をした相手のレフェリーが、タイムアウトの笛を吹くと話し合っていたが、ペアの連携がうまくいかずに、時々、タイムアウトの笛を遅れて吹く場面があった。

パッシブプレイの予告ジェスチャーを出した後、どのタイミングでパッシブプレイの判定をするかは、ペアによってまちまちであったが、相対的に笛を吹くまでの時間が長く、もっと早く決断を下しても良い場面があった。

懸念をしていたスローオフであったが、相手チームのシューターを、自陣に残したままでのスローオフの実施は意外に少なく、殆どのスローオフの笛は、コートレフェリー（ゴールレフェリーからコートレフェリーに移動した）が吹いていた。しかし、スローオフの素早い実施を求められ、ゴールに戻るレフェリーが、スローオフの笛を吹く必要がある時に、両レフェリーのコンタクトをどのようにとるか、今後の課題である。

又、スローオフ実施の際のラインクロスを、余り厳しく判定する必要はないのではないかという意見も出たが、ルールに従ってきちんと判定することが、プレイヤーの正しいプレイを導くとの結論に達した。

このルール改正によって確実にチームの攻撃回数は増え、レフェリーにとっても、プレイヤーにとっても、運動量の増加は避けられない。レフェリーの体力維持のトレーニングは、不可欠なものとなるであろう。

チームタイムアウトの採用、7mスロー判定の度にとられるタイムアウトに伴い、試合時間は延び、又、その時間は、試合毎に予測がつかない。現在、多くの全国大会で行われている鮨詰めの試合日程は、見直しが必要となる。

最後に、レフェリーの健康面を考慮し、試合中のレフェリーにも、プレイヤーと同じように飲み物の摂取(例：チームタイムアウト時)を可能にし、又、全国大会のおいて、炎天下での1日に2試合の審判をさせるような試合運営は、再考されたい。

ヘッドレフェリーシンポジューム報告

（リンダブルン／オーストリア）

チームタイムアウト実施の手引き

ルール研究委員会委員長　後藤　登　委員　清水宣雄

1　スコアラーは、前半と後半の開始前に（延長戦は除く）、両チームにチームタイムアウト請求カード（緑色）を渡しておく。使われなかったチームタイムアウト請求カードは、前半と後半の終了時に、戻されなければならない。

2　チームタイムアウトを請求するチーム役員は、オフィシャル席のタイムキーパーかスコアラーに、請求カードを提出する。

チームタイムアウトの請求は、何時でもすることができる。したがって、得点や、ゴールキーパースロー判定の後でも、請求することが可能である（4項参照）。

3　タイムキーパーあるいはスコアラーは、チームタイムアウト請求カードを専用スタンドに立てる。

4　スローオフかゴールキーパースローが既に行われたときには、レフェリーは、チームタイムアウトを受け付けてはならない。

5　チームは、一度請求したチームタイムアウトを、取り下げることはできない。

6　タイムキーパーは、次の場合、直ちにチームタイムアウトを知らせる笛を吹く。

(a)ボールが請求したチームのゴールラインを通過し、レフェリーが得点を認めたとき。

(b)ボールが請求したチームのアウターゴールラインを通過し、レフェリーが、ゴールキーパースローを判定したとき。

7　タイムキーパーのチームタイムアウトを知らせる笛で、競技は中断する。従って、タイムキーパーの笛の音が、レフェリーに聞こえないときには、競技場に入るなどし、タイムキーパーに、注意を引きつけなければならない。

8　タイムキーパーは、チームタイムアウトを請求したチームか、タイムアウト請求カードが立っているスタンドを、伸ばした腕で示す。

9　レフェリーは、タイムアウトの合図（2の4に従い、笛を短く3回吹き、「T」のジェスチャーをする）をする。

10　タイムキーパーは、ここで時計を止める。

11　レフェリーは、ジェスチャー18（両チームの全てのメンバーに対するコートへの入場許可）をする。

12　タイムキーパーは、このジェスチャーで、直ちにチームタイムアウト専用の時計を使い、チームタイムアウトの時間を計り始める。

13　プレイヤーとチーム役員は、チームタイムアウトの間、コートの内、外を問わず、自陣の交代地域の前にいなければならない。チームタイムアウト中の競技規則違反は、競技時間中の違反と同様に扱う（競技規則解説1・次号掲載予定）。

チームタイムアウト中のスポーツマンシップに反する行為は、違反したプレイヤーが、コートの内にいても、交代地域にいても、17の3c、または、17の3の最終段落を適用し、退場となる。

14　スコアラーは、請求したチームを記録用紙に記入する。

15　レフェリーは、ボールを持ってコートの中央で待機し、そのうち一人が、オフィシャルとの確認協議の為に、一時的に記録席に行く。

16　タイムキーパーは、50秒経過した時に、笛（ブザー等の音）で合図をし、競技再開を促す。

17　コートレフェリーは、10秒以内に競技を再開できるように、両チームを競技規則に則った、正しい位置につかせる。

18　ゴールレフェリーは、所定の位置で待機する。

19　コートレフェリーは、競技再開の笛を吹く。競技は、中断の理由にふさわしいスロー（スローオフ、またはゴールキーパースロー）で再開する。

20　タイムキーパーは、レフェリーの競技再開の笛の合図で、競技時間の時計をスタートさせる。

21　スコアラーは、スタンドから請求カードを外す。

22　チームは、相手チームがチームタイムアウトを請求した直後でも、チームタイムアウトを請求できる。このような場合、二枚の請求カードが、記録席のスタンドに立つ。

これらのチームタイムアウトは、それぞれのチームが、スローオフ、あるいはゴールキーパースローを得たときに与えられる。

23　前半にチームタイムアウトを請求しなかったり、与えられなかった場合でも、チームタイムアウト請求の権利を、後半に持ち越すことはできない。

この為に、チームタイムアウト請求カードは、前半の終了時に、スコアラーかタイムキーパーに、戻さなければならない。

新しいファン引き止め策

企画・広報委員
早川　文司

「ハンドボールの面白さにハマってしまった」人に出会った。初老の紳士だが、ハンドボールなしでは夜も日も明けぬ熱い胸中を披露する表情は輝いていた。プレ世界選手権を観戦して熱烈ファンの仲間入りをしたのだそうだ。確かに「熊本」で魅力にとりつかれた人は多いし、日本協会が熱望するメジャー化への道が開けたといえなくもない。では、こうした「新しいファンをどう引き止めるか」を思った場合、具体的なアイデアにお目にかかれない。せっかく「熊本」の追い風があるのだから、これを生かさない手はない。

幸い日本リーグの真っ最中。ここに足を運ばせる知恵を絞りたい。大半の人はこれまでハンドボールという競技に触れる機会に乏しかった。〝食わず嫌い〟だったといってもいいだろう。「熊本」で出会いの場を得て、激しい格闘技に触れ、日本代表の活躍もあって魅力にとりつかれた人は数え切れないほど増えたに違いない。

だからこそ、アピールした魅力を日本リーグという舞台で見せなくてはならないし、満足させることが〝使命〟でもあろう。これまではどの会場でも大抵、あっちを向いても、こっちを向いても「いつも見慣れた顔」が多かった。新顔を引き込まなくては、チャンスをみすみす逃してしまう結果になってしまうのは明らかだ。

イキのいいプレー、激しい接触プレーを爆発させることによって、面白さを体験した新しいファンを引き止めることになる。問題は戦いの中身の濃さである。

もう一つ大切なのは、日本リーグ情報の一般への露出の重要性である。「いつ、どこで試合があるか分からない」という声をよく耳にする。これではいくら会場に足を運びたくても運べない。

せっかくホーム・アンド・アウェー制を採用したのだから、せめてホームのスケジュールをPRする場を設けたい。主要ターミナルや電車内、あるいは加盟チームの関係先などに掲示するなど、いろいろ方法はあろう。人を集めないことには、魅力をアピールしようにも出来ない相談だ。

ハンドボールが注目されている今こそ絶好のチャンス。「試合を見たい」欲望を満たしてこそ〝ニューパワー〟を引き止め、さらに新しいファン開拓につながる。普及には欠かせない日本リーグに与えられた大きなテーマである。

1997男子ジュニア世界選手権(トルコ)結果

予選ラウンド

Aグループ

順位	チーム	試合数	勝	引分	負	勝点	スコアー
1	クロアチア(COR)	4	4	0	0	8	116:93
2	スペイン(ESP)	4	2	1	1	5	102:100
3	トルコ(TUR)	4	1	1	2	3	100:102
4	マケドニア(MKD)	4	0	3	1	3	101:106
5	ウクライナ(UKR)	4	0	1	3	1	100:108

Bグループ

順位	チーム	試合数	勝	引分	負	勝点	スコアー
1	チュニジア(TUN)	4	4	0	0	8	118:108
2	ポーランド(POL)	4	2	1	1	5	107:83
3	ロシア(RUS)	4	1	2	1	4	96:97
4	アラブ首長国連邦(UAE)	4	0	1	2	3	104:103
5	オーストリア(AUT)	4	0	0	4	0	86:120

Cグループ

順位	チーム	試合数	勝	引分	負	勝点	スコアー
1	ユーゴスラビア(YUG)	4	4	0	0	8	122:80
2	フランス(FRA)	4	3	0	1	6	96:89
3	サウジアラビア(KSA)	4	2	0	2	4	98:87
4	ブラジル(BRA)	4	1	0	3	2	80:101
5	スロベニア(SLO)	4	0	0	4	0	90:129

Dグループ

順位	チーム	試合数	勝	引分	負	勝点	スコアー
1	デンマーク(DEN)	4	4	0	0	8	119:73
2	ドイツ(GER)	4	3	0	1	6	108:99
3	ベラルーシ(BLR)	4	1	1	2	3	102:117
4	エジプト(EGY)	4	1	0	3	2	103:114
5	ギリシャ(GRE)	4	0	1	3	1	81:110

決勝ラウンド

■クロスマッチ

マケドニア 36－24 オーストリア
（A組4位）（B組5位）
ウクライナ 30－26 アラブ首長国連邦
（A組5位）（B組4位）
ブラジル 27－23 ギリシャ
（C組4位）（D組5位）
エジプト 29－24 スロベニア
（D組4位）（C組5位）

■決勝トーナメント1回戦

ウクライナ 23－21 クロアチア
ドイツ 25－24 サウジアラビア
チュニジア 26－23 マケドニア
ポーランド 26－21 トルコ
フランス 27－26 ベラルーシ
スペイン 31－23 ロシア
デンマーク 27－24 ブラジル
（延長）
エジプト 27－25 ユーゴスラビア

■決勝トーナメント2回戦

デンマーク 20－13 スペイン
ウクライナ 33－23 ドイツ
フランス 26－24 チュニジア
エジプト 33－35 ポーランド
（第2延長）

■準決勝

ウクライナ 35－19 ポーランド
デンマーク 36－21 フランス

■順位決定予備戦

スペイン 32－26 チュニジア
エジプト 23－22 ドイツ

■7・8位決定戦

ドイツ 35－25 チュニジア

■5・6位決定戦

スペイン 27－22 エジプト

■3・4位決定戦

フランス 28－24 ポーランド

■決勝戦

デンマーク 29－23 ウクライナ

■最終順位

1位デンマーク
2位ウクライナ
3位フランス
4位ポーランド
5位スペイン
6位エジプト
7位ドイツ
8位チュニジア
9位ユーゴスラビア
10位クロアチア
11位サウジアラビア
12位ロシア
13位トルコ
14位ベラルーシ
15位マケドニア
16位ブラジル
17位アラブ首長国連邦
18位ギリシャ
19位オーストリア
20位スロベニア

■ベストスコアラー

フセイン・フセイン（エジプト）

■ベストGK

カスパー・ハビット（デンマーク）

■ベストプレイヤー

ビタリー・ナット（ウクライナ）

東日本学生選手権大会

（会場：湯沢市総合体育館・湯沢高等学校体育館・湯沢雄勝広域市町村圏組合総合体育館）

男子

●●●●●●●●予選リーグ

■A組
金沢工業大 25－11 福島大
早稲田大 37－12 明治学院大
金沢工業大 28－15 明治学院大
早稲田大 38－17 福島大
福島大 21－19 明治学院大
早稲田大 33－12 金沢工業大
[順位]
①早稲田大②金沢工業大
③福島大④明治学院大

■B組
仙台大 31－17 慶應大
順天堂大 35－19 小樽商科大
仙台大 29－20 小樽商科大
順天堂大 25－13 慶應大
慶應大 28－19 小樽商科大
順天堂大 21－13 仙台大
[順位]
①順天堂大②仙台大
③慶應大④小樽商科大

■C組
法政大 34－6 札幌大
筑波大 33－3 秋田大
法政大 32－17 秋田大
筑波大 33－14 札幌大
秋田大 22－14 札幌大
筑波大 22－16 法政大
[順位]
①筑波大②法政大
③秋田大④札幌大・

■D組
道都大 17－14 国際武道大
日本体育大 32－10 東北大
道都大 34－13 東北大
日本体育大 25－20 国際武道大
国際武道大 25－21 東北大
日本体育大 26－16 道都大
[順位]
①日本体育大②道都大
③国際武道大④東北大

■E組
拓殖大 24－8 北海道大
中央大 33－2 信州大
拓殖大 24－8 信州大
中央大 39－10 北海道大
北海道大 28－17 信州大
中央大 21－13 拓殖大
[順位]
①中央大②拓殖大
③北海道大④信州大

■F組
国士舘大 35－6 金沢大
函館大 24－15 茨城大
国士舘大 24－8 茨城大
函館大 32－15 金沢大
茨城大 24－12 金沢大
国士舘大 27－12 函館大
[順位]
①国士舘大②函館大
③茨城大④金沢大

■G組
日本大 36－8 長野大
東北福祉大 34－12 北見工業大
日本大 40－9 北見工業大
東北福祉大 35－8 長野大
北見工業大 25－21 長野大
日本大 18－12 東北福祉大
[順位]
①日本大②東北福祉大
③北見工業大④長野大

■H組
東海大 24－6 東北学院大
青山学院大 33－16 新潟大学
東海大 25－15 青山学院大
東北学院大 27－21 新潟大
青山学院大 24－20 東北学院大
東海大 27－6 新潟大
[順位]
①東海大②青山学院大
③東北学院大④新潟大

●●●●●●●決勝トーナメント

■1回戦
中央大 30－25 早稲田大
日本体育大 31－17 東海大
国士舘大 24－22 筑波大
日本大 22－21 順天堂大

■準決勝
日本体育大 30－23 中央大
国士舘大 25－18 日本大

■決勝戦
国士舘大 26（12－15／14－8）23 日本体育大

※優秀選手
GK田村健治（国士舘大）
GK吉井丈晴（日本大）
CP谷嘉徳（国士舘大）
CP岩本裕（国士舘大）
CP田中将（日本体育大）
CP佐藤正志（中央大）

女子

●●●●●●●●予選リーグ

■A組
聖徳大 25－14 北海道女大
東女体大 38－4 岩手大
聖徳大 30－12 岩手大
東女体大 38－6 北海道女大
北海道女大 17－17 岩手大
東女体大 38－9 聖徳大
[順位]
①東女体大②聖徳大
③北海道女大④岩手大

■B組
東海大 34－4 新潟大
日本体育大 32－10 秋田大
東海大 25－10 秋田大
日本体育大 48－6 新潟大
秋田大 19－11 新潟大
日本体育大 32－11 東海大
[順位]
①日本体育大②東海大
③秋田大④新潟大

■C組
国士舘大 23－9 金沢大
筑波大 31－5 北教大旭川
国士舘大 24－11 北教大旭川
筑波大 35－8 金沢大
北教大旭川 27－20 金沢大
筑波大 25－11 国士舘大
[順位]
①筑波大②国士舘大
③金沢大④北教大旭川

■D組
東北福祉大 18－16 日女体大
茨城大 31－8 仁愛女短大
日女体大 37－7 仁愛女短大
茨城大 18－13 東北福祉大
東北福祉大 23－12 仁愛女短大
茨城大 14－11 日女体大
[順位]
①茨城大②東北福祉大
③日女体大④仁愛女短大

●●●●●●決勝トーナメント

■準決勝
東女体大 34－15 茨城大
筑波大 29－19 日本体育大

■決勝戦
東女体大 28（10－14／18－7）21 筑波大

※優秀選手
GK仁井田朗子（東女体大）
CP児島愛（東女体大）
CP山口美穂（東女体大）
CP日下部美智（筑波大）
CP早川まさみ（筑波大）
CP田口順子（日本体育大）
CP佐々木史子（筑波大）

西日本学生選手権大会

男子

●●●●●●●●●●予選リーグ

■A組

桃山学院大 16—14 愛知大
福岡教育大 26—14 松山大
福岡教育大 30—19 愛知大
桃山学院大 25—11 松山大
愛知大 21—19 松山大
桃山学院大 19—18 福岡教育大

[順位]
①桃山学院大②福岡教育大
③愛知大④松山大

■B組

愛知教育大 20—18 大阪大
広島大 23—21 天理大
愛知教育大 28—20 天理大
広島大 21—19 大阪大
天理大 25—14 大阪大
広島大 15—14 愛知教育大

[順位]
①広島大②愛知教育大
③天理大④大阪大

■C組

中部大 25—18 神戸国際大
京都産業大 20—19 琉球大
中部大 32—19 琉球大
京都産業大 30—17 神戸国際大
琉球大 25—19 神戸国際大
京都産業大 25—16 中部大

[順位]
①京都産業大②中部大
③琉球大④神戸国際大

■D組

大阪経済大 25—14 西南学院大
広島経済大 26—15 南山大
大阪経済大 35—11 南山大
西南学院大 19—14 広島経済大
西南学院大 15—15 南山大
大阪経済大 27—18 広島経済大

[順位]
①大阪経済大②西南学院大
③広島経済大④南山大

■E組

名城大 39—14 仏教大
福岡大 31—8 近畿大
福岡大 48—7 仏教大
名城大 21—15 近畿大
近畿大 34—19 仏教大
名城大 18—18 福岡大

[順位]
①福岡大②名城大
③近畿大④仏教大

■F組

大阪体育大 28—16 沖縄国際大
中京大 18—12 愛媛大
中京大 28—17 沖縄国際大
大阪体育大 27—8 愛媛大
沖縄国際大 25—17 愛媛大
大阪体育大 20—14 中京大

[順位]
①大阪体育大②中京大
③沖縄国際大④愛媛大

■G組

立命館大 21—21 同志社大
関西大 22—17 九州大
立命館大 27—15 関西大
同志社大 29—16 九州大
九州大 23—19 立命館大
同志社大 27—18 関西大

[順位]
①同志社大②立命館大
③九州大④関西大

■H組

東和大 27—10 岡山大
愛知学院大 29—20 関西外語大
東和大 26—15 関西外語大
愛知学院大 26—20 岡山大
東和大 25—14 愛知学院大
関西外語大 30—17 岡山大

[順位]
①東和大②愛知大
③関西外語大④岡山大

●●●●●●決勝トーナメント

■1回戦

広島大 20—15 桃山学院大
大阪経済大 25—20 京都産業大
大阪体育大 22—17 福岡大
東和大 36—19 同志社大

■準決勝

大阪経済大 30—15 広島大
大阪体育大 21—14 東和大

■決勝戦

大阪体育大 21（14—6, 7—10）16 大阪経済大

※優秀選手

GK 倉 昌宏（大阪体育大）
CP 竹下浩雄（大阪体育大）
CP 小林貴幸（大阪体育大）
CP 北田 忍（大阪体育大）
CP 土坂士朗（大阪経済大）
CP 山端千浩（大阪経済大）
CP 深谷健也（東和大）

女子

●●●●●●●●●予選リーグ

■A組

武庫川女大 29—12 天理大
福岡教育大 17—12 中京大
武庫川女大 23—17 福岡教育大
中京大 15—13 天理大
武庫川女大 11—9 中京大
福岡教育大 36—13 天理大

[順位]
①武庫川女大②福岡教育大
③中京大④天理大

■B組

福岡大 33—15 龍谷大
関西女短大 20—10 広島大
福岡大 40—8 広島大
関西女短大 20—20 龍谷大
福岡大 25—9 関西女短大
龍谷大 23—13 広島大

[順位]
①福岡大②関西女短大
③龍谷大④広島大

■C組

中京女子大 33—15 関西外語大
大阪教育大 23—13 琉球大
中京女子大 27—9 琉球大
大阪教育大 28—10 関西外語大
関西外語大 12—6 琉球大
中京女子大 20—17 大阪教育大

[順位]
①中京女子大②大阪教育大
③関西外語大④琉球大

■D組

大阪体育大 39—8 九州女子大
岡山県立大 21—19 豊田短大
大阪体育大 25—19 豊田短大
岡山県立大 21—21 九州女子大
大阪体育大 38—12 岡山県立大
豊田短大 19—19 九州女子大

[順位]
①大阪体育大②岡山県立大
③九州女子大④豊田短大

●●●●●●決勝トーナメント

■準決勝

武庫川女大 22—16 福岡大
大阪体育大 34—19 中京女子大

■決勝戦

大阪体育大 17（10—8, 7—8）16 武庫川女大

※優秀選手

GK 田中麻美（大阪体育大）
CP 富山祐子（大阪体育大）
CP 橋本ひとみ（大阪体育大）
CP 三輪田裕美（武庫川女大）
CP 大石真代（武庫川女大）
CP 広瀬輝美（福岡大）
CP 影山里子（中京女子大）

アンチ・ドーピングQ&A⑵

西山　逸成

一般的にスポーツ界で言われている〝ドーピング〟には「アンチ・ドーピング」と「ドーピング・コントロール」の両者を総称するかあるいは両者の何れかについて表言されている。〝ドーピング〟とは本誌前号でも触れたように国際オリンピック委員会（IOC）や国際ハンドボール連盟（IHF）のアンチ・ドーピング規程によって使用禁止されている各種の物質（薬物とは限定されていない）を使用することによって個人の能力以上の成績を得ようとすることである。〝アンチ・ドーピング〟とはドーピング対策すなわちドーピングの防止のための啓蒙・普及活動のことである。そして〝ドーピング・コントロール〟とは、スポーツマンに許されない不正なドーピング行為を排除・防止・啓蒙する目的で実施する検査の意味である。ドーピング・コントロールの実施の背景には、不心得なドーピング行為をしている選手の摘発のために実施するのではなく、一生懸命に自分の持てる力を存分に発揮しているフェアーな全部のスポーツマンを保護しようとする一つの理念にもとづいている。

今回は、日本ハンドボール協会が近い将来ドーピング・コントロールを国内主要大会で実施し、日本体育協会や日本オリンピック委員会が現在取り組んでいるアンチ・ドーピングの時流に乗ろうとしている状況に対応するため、幅広い分野にわたってQ&A方式で紹介することにする。

Q1：ドーピング禁止薬物とは？

A1：国際オリンピック委員会（IOC）の規程に示されている禁止物質の種類は次の5分類である。（IOCI条）

A　興奮剤（カフェイン、コカイン、塩酸フェニルプロパノールアミン他）

B　麻薬性鎮痛剤（モルヒネ、ヘロイン他）

C　蛋白同化剤（テストステロン他）

D　利尿剤（アセタゾラミド、フロセミド他）

E　ペプテド及び糖蛋白ホルモンと同族体

以上のほか一定の規制対象となる薬物種類（IOCIII条）として、アルコール、マリファナ（大麻）、局所麻酔剤、コルチコステロイド（副腎皮質ステロイド）及びβ遮断剤がある。一定の規制対象例を局所麻酔剤の注射の認められる条件でみると次のとおりである。

a　プピバカイン、リドカイン、メピバカイン、プロカイン等は使用できるが、コカインは使用できない。血管収縮神経剤（アドレナリン等）は局所麻酔剤と共に使用できる。

b　局所及び関節内注射のみに使用できる。

c　医学的（詳細な診断書）に正当な場合にのみ使用できるが、競技前（中）に投与した場合は、速やかに投与量・投与経路を申告書（ハンドボール機関誌前号379）で大会の医事責任者に提出する。

Q2：ドーピング禁止の方法とは？

A2：禁止方法とは、血液ドーピングと薬学的・化学的・物理的操作の2方法がある。（IOCII条）

a　血液ドーピングとは、選手に対し、血液・赤血球・関連血液製剤を注入することであり、この方法は、主として競技会以前に選手自身の血液を採血することである。

b　薬学的・化学的・物理的操作とは、マスキング剤（利尿剤等）の使用によって多量の尿を放出し薄めて薬物使用を隠したり、尿を取り替えたりすることである。

Q3：ドーピング・コントロールが厳格に実施されているのに、なぜ違反選手が増加しているのか？

A3：ドーピング検査の分析技術よりも、〝ドーピンング〟がより専門的に高度化してきたので、近年では広島第12回アジア大会（1994年）では水泳5名、カヌー2名、陸上・自転車各1名の中国選手11名（男子6名、女子5名）がIOCの禁止薬物検査に陽性となり、メダルを剥奪されたことは、読者の記憶にもあると思う。これら11名の尿検査結果（A&Bサンプル＝再検査結果の意味）、ジヒドロテストステロン（DHT）が検出された。この事実は、検査法が確立されないまま規制対象となっている禁止薬物を使用しようとしてきたり、分析技術をごまかしてきた禁止薬物の不正使用の一端を見せたものとして厳正に処罰された一例である。（第12回アジア大会報告書・財団法人日本オリンピック委員会）

注：テストステロンは蛋白同化ホルモンでもともと体内に存在する男性ホルモンで従来外因性使用の検出が困難であったが、1984年ロサンゼルス・オリンピック以降はテストステロン(T)とその代謝物エピテストステロン(ET)の比で判定可能となったのでIOCの指定禁止薬物となった経緯がある。その背景には1976年モントリオール・オリンピック大会時にはじめて蛋白同化剤（筋肉増強剤）分析能力が追いついたので、その時以来指定禁止薬物となったが、このとき8名が蛋白同化剤で陽性となった。それ以降蛋白同化剤や蛋白同化ホルモンの種類が検査技術の進歩とともに増している。（「スポーツジャーナル」1995・7）

Q4：感冒（風邪）時には薬局による治療ができるか？（「スポーツ・ジャーナル」1997・1）

A4：選手のコンディショニングとしてチームドクターは当然風邪薬を投薬するだろう。当然感冒薬の中にIOC禁止薬物のエフェドリン類とカフェインが含まれている風邪薬は使用できないことになる。

たとえば、エフェドリンは葛根湯（漢方薬）に含まれる麻黄に含まれているので服用すれば、消化管から吸収され、24時間以内に尿中に排泄されることになるので、ドーピング規制以外の薬品を使用せざるを得ない。

使用上問題のない感冒薬剤（1995年ユニバーシアード福岡大会の日本選手団準備）は、**表1**のとおりである。

Q5：オリンピック大会や国際大会等で陽性判定者は何人ぐらいいたのか？

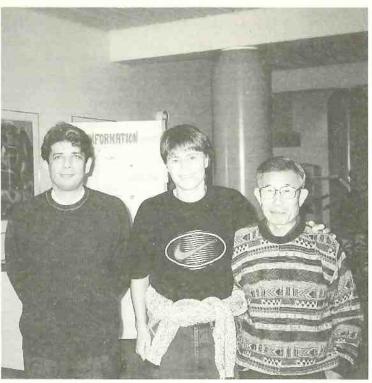
A5：IOCに報告された競技種目別陽性人員は**表2**のとおりである。

ハンドボール競技の検体数の848名中6名が陽性者数であるので陽性率0・71であり、32競技種目

表1 感冒薬品リスト（使用可能）

薬品名	薬品名	症状
非ステロイド性消炎剤（鎮痛解熱剤）	ボルタレン ブルフェン イブプロフェン アスピリン アセトアミノフェン	筋・関節痛等 発熱、頭痛
抗ヒスタミン剤	ニポラジン ポララミン	鼻水、鼻づまり
鎮咳剤、去痰剤	アストミン ビソルボン	咳、痰
抗生物質	レーケフレックス ビクシリンS ミノマイシン	扁桃炎、気管支炎
うがい薬、トローチ	イソジンガーグル オラドールトローチ	

表2 IOCに報告された競技種目別陽性数（1993年）

競技種目名	検体数	陽性数	陽性率
陸上競技	14,386	122	0.85
自転車	11,474	110	0.96
サッカー	9,054	24	0.27
重量挙げ	4,358	129	2.96
水泳	2,723	19	0.70
バスケットボール	2,347	29	1.24
射撃	1,337	5	0.37
スキー	1,296	9	0.69
漕艇	1,243	2	0.16
アイスホッケー	1,171	3	0.26
カヌー	1,169	6	0.51
レスリング	1,131	21	1.86
柔道	1,009	12	1.19
ボクシング	896	7	0.78
ハンドボール	848	6	0.71
バレーボール	810	3	0.37
野球	808	4	0.50
スケート	762	3	0.39
フェンシング	701	4	0.57
体操	545	5	0.92
近代五種	445	4	0.90
ホッケー	398	4	1.01
バドミントン	388	0	
テニス	375	7	1.87
ボブスレー	320	3	0.94
卓球	244	0	
アーチェリー	207	4	1.93
バイアスロン	186	0	
フィギュアスケート	156	0	
ヨット	107	1	0.93
馬術	33	0	
クロスカントリースキー	17	0	
合計	60,944	546	0.90

1996年女子ヨーロッパ選手権で最優秀選手のアーニャ・アンデルセン選手（中央）

の全体陽性率0・90よりも低いが第15番目であり決して低い水準ではない。

Q6：熊本世界選手権大会で陽性反応者が検出されたのか？

A6：検出されたので、国際ハンドボール連盟医事委員会（IHF／MC）からその事情の説明を受けた。

検査の実施は予選リーグ期間中に抽出されたS・AチームのZ選手のA検体検査結果、興奮剤としてのフェニルプロパノールアミンが検出された。直ちに既に予選リーグ敗退で帰国中のS・Aチーム責任者に対し、再検査（B検体）のための要望（抗議）を打診したが、完全に検査結果を肯定したので、IHFとしては、規程にもとづき罰則適用とした。その罰則内容はIHFアンチドーピング規程（IX章II条）により、選手のみ大会出場停止最長3ケ月と説明された。罰則規程の背景には、「フェニルプロパノールアミン」IOC医事規程説明書I章では興奮剤の一つのグループの交感神経興奮作用のアミンで感冒薬（医師の処方箋なしで薬局等で軽易に購買できる薬品ではあるが、大量投与によって精神高揚、血流増加するが副作用として、血圧上昇、頭痛、心拍増加と不整脈、震えるなどの症状が発生するもので、Z選手は感冒含有量の数倍のフェニルプロパノールアミンを服用し自認したものである。

以上、アンチ・ドーピングやドーピング・コントロールについての知識の一端にでもなれば幸いである。

TIME	TOPIC	SPEAKER	VENUE
25 06 1997			
08h45-09h00	Presentation of the discussion results		
09h00-10h30	Overview on the new ruies-objectives, consequences, tacatical possibilities	Dietrich Spate IHF/CCM	Auditorium
11h00-11h45	Computer and video analysis of the WC finalRUS-SWE(system:Tacticus)	Harald Madsen, national coach NOR, Elend Willumsen(Super Coach)	Auditorium
11h45-12h30	Excursion(Organiser)	Hyung Kyun Chung, national team Trainer KOR	Auditorium
Afternoon	Discussion in working groups		
20h30 and on			

TIME	TOPIC	SPEAKER	VENUE
26 06 1997			
08h30-09h00	Presentation of the discussion results		Auditorium
09h00-09h45	Experiences and tactical possibilities with selection of new rules(team time-out, throw-off,etc...)	juan De Dios Roman Seco IHF/CCM	Auditorium
09h45-10h30	1. Analyses of thrwos from the back court at the Olympic tournament in Atlanta. 2. Active defence during the play 5 against 6	juan De Dios Roman Seco IHF/CCM, national team trainer ESP	Auditorium
11h00-12h00	Presentation of various concepts for junior training(structure, contents, promotion of talent, mechodical guidelines EGY-The national attitude in preparing beginners under 12 years and junior players under16 years.	Dr.Hassan Moustafa, president of the CCM/IHF	Auditorium
15h00-16h00	Training of the group tactics in offensive and defensive play	Hyung-Kyun Chung. national team trainer KOR, demo-team women	Gym
16h30-17h30	Active defense during the play 5 against 6	Juan De Dios Roman Seco, CCM/IHF	Gym
20h30 and on	Discussion in working groups		

TIME	TOPIC	SPEAKER	VENUE
27 06 1997			
08h45-09h00	Presentation of the discussion results		Auditorium
09h00-10h00	Coaching strategies-experiences in psychological team coaching at inernational tounaments	Daniel Costantini, national team trainer men FRA	Auditorium
10h30-11h00	Selected principal points of junior concepts POR	Carios Cruz, Technical director Carlos Jorge, junior national team trainer	Auditorium
11h00-11h30	Selected principal points of junior concepts FRA	Jean-Michel Germain CCM/IHF	Auditorium
11h30-12h00	Diet during a world championship tournament	Marielle Ledoux	Auditorium
14h30-15h30	Practical session: Improving multiple-line general attacking principles and acative defending. Displaying tactical moving about geared to attacking this very type of defending-exemple of a training unit	Daniel Costantini, national team trainer FRA. demo-team men	Gym
15h30-16h15	Selected principal points of junior concepts in practice POR	Carlos Cruz,POR Carlos Jorge, POR	Gym
16h30-17h15	Selected principal points of junior concepts in practice FRA	Jean-Michel Germain, CCM/IHF	Gym
17h30-18h00	Open discussion with CCM	CCM	Auditorium
18h00	CLOSING EVENT	IHF, Canadian Team Handball Federation. Organiser	Auditorium

1997 IHF Trainer Symposium報告

指導委員会九州ブロック担当　福岡教育大学　**池田　修**

1997 IHF Trainer Symposiumは６月23日から27日までの５日間CanadaのSherbrooke(Quebec)において開催され、世界各国から81名が参加した。会場はSherbrooke Universityの講義室と体育館が使用され、宿泊も大学の寄宿舎であった。内容は別表のとおりであった。最も参加者の注目を集めたのは、国際的に８月１日より実施された新ルールについてであった。PRC委員長Steinbachによる解説、CCM委員のSpaeteやRoman Secoによる新ルールでの戦術上の可能性の講演に多くの質問と意見が寄せられた。また、トレーナーの友好も兼ねて新ルールでの大陸別トレーナー選手権大会も実施された。

シンポジュームの講演内容は当然勉強になったが、寄宿舎での共同形態であったことから、各国のトレーナーの生活の仕方も併せて勉強することができた。

PROGRAM

TIME	TOPIC	SPEAKER	VENUE
23 06 1997			
08h15-09h00	Opening	Dr.H.Moustafa IHF/CCM Canadian Team Handball Federation,Organiser	Auditorium
09h00-10h00	Development tendencies in men's handball (1995-1997)	Dietrich Spate IHF/CCM	Auditorium
10h30-11h15	Development tendencies in the play of the goalkeeper	Michal Barda IHF/CCM	Auditorium
11h15-11h45	Development tendencies of the individual offen sive techniques of the back-court, pivot and wing players	Peter Kovacs IHF/CCM	Auditorium
11h45-12h00	Targets and important points of the training unit (afternoon)-counter-attack	Dr.Branislav Poxrajac, Formaer national trainer YUG	Auditorium
14h30-15h30	Individual traininf for back court players-example of training unit	Peter Kovacs IHF/CCM	Gym
15h30-16h30	Tactical position play example of training unit for goalkeeper	Michal Barda IHF/CCM	Gym
17h00-18h00	Development of speed on handball training of the counter-attack	Dr.B.Pokrajac(former national team trainer YUG)	Gym
20h30and on	Discussion in working groups		

TIME	TOPIC	SPEAKER	VENUE
24 06 1997			
08h45-09h00	Presentation of the discussion results		Auditorium
09h00-09h45	Dangers to health in the handball game and forms of prevention	Gys Langevoort, MC president	Auditorium
09h45-10h15	Objectives of the PRC-referee training, promotion of junior referees	Kjartan Steinbach, PRC president	Auditorium
10h15-11h30	Training on coordination and technique under pressure	Exxe Hoffmann, national team trainer GER	Auditorium
11h30-12h45	The handball game of the future PART2-continuation of 1989 IHF Symposium	Dr. B. Pokrajac, former national team trainer YUG	Auditorium
16h00-17h00	Training under pressure to improve coordina-tion and technique-practical examples	Exxe Hoffmann, national teama trainer Ger, demoteam women	Gym
17h00-18h00	Modern training of individual and group tactics in defensive play	Dr. B. Pokrajac, former national team trainer YUG	Gym
20h30 and on	Discussion in working groups		

簡易ハンドボール指導の実践報告書

茨城県北茨城市立大津小学校
塩幡 智子

(1)単元名

ハンドボール（ボール運動）
―5学年―

(2)子どもたちの準備状況の把握

・児童数：男子20名、女子15名、計35名。
・生活の中から：ボール運動は人気があるが、学年が進むにつれ、体力だけでなく技術的な差が顕著になる。加えて、ボールに当たった場合の痛さ、相手との接触を敬遠する子も出てくる。男子については、少年団（野球、ミニバスケ）に入っている者とそうでない者との体力、運動技能的な差が著しい。女子は、運動の機会が少ないため、男子との差が大きい。
・スポーツテストの結果：全体的に投力が落ち込み、個人差が大きい。ジグザグドリブルについては男女差が大きい。
・アンケートの結果：ハンドボールを知っている子はほとんどいなかったが、ボール運動が好きと答えた子は半数以上いた。また、「友達と仲良くやりたい」という希望が多かった。

(3)種目特性のとらえ方

〈一般的特性〉

2つのチームがコート内を動き回り、ドリブルやパスなどでボールを進め、相手ゴールエリア外からゴールにシュートして得点を競い合うことが楽しい運動である。

〈児童からみた特性〉

・作戦が成功し、防御をかわしてシュートできるとうれしい。
・シュートが成功するとうれしい。
・ボールが人にぶつかるのがこわい。
・ドリブルが難しい。

(4)教師の授業への意図

・学習のねらいに則し、自分に合ったためあてがしっかりもてるように、ステージごとにめあての例を準備し、だれもが選んだり付け加えたりできるようにした。
・同程度のチーム力になるようにグループを編成し、どのグループにも勝てるチャンスを保障し、グループ活動の活性化を図る。
・細かいルールを決めない試しのゲームを行い、児童のもつ思いや願いを引き出し、ルールづくりに生かす。

(5)教材化における工夫

〈ルールづくり〉

・ステージ1：ボールは手で扱う。相手ゴールにボールを入れたら得点。危険な行為はしない。
・ステージ2：子どもから出された意見をもとに、全員で話し合い、ルールを増やす。
・ステージ3：対戦チームとの話し合いで、ステージ2でできたルールを選んだり、新たにルールをつくったりする。

〈ゴール〉

・塩ビ管で教師が中心に作製する。
・可動式ゴール1組：幅2・5m、高さ1・35m、1・5m、1・65m、1・8mの4段階に変えられる。
・固定式ゴール2組：幅2・5m、高さ1・8m。

〈ボール〉

・ソフトバレーボール低学年用（小）、高学年用（大）、ドッジボール1号球、0号球を用意し、グループで選べるようにする。

〈グループ編成〉

・グループの力がほぼ均等になるように、キャプテン同士で話し合わせ、5、6人のグループを6チームつくる。

〈その他〉

・グループの学習カードの他に、授業終了後に、ゲーム中に感じたことを自由に書き込めるような、いいたい放題カードを準備する。

(6)ねらい

〈関心・意欲・態度〉

・ハンドボールの楽しさがわかり、グループで協力し合ってめあてを達成するために意欲的に活動しようとする。

〈思考・判断〉

・自分のチームや相手のチームに

応じた作戦を立てて、練習やゲームを行うことができる。

〈技能〉

・味方のとりやすいパスを片手で投げたり、味方からのパスを両手で受けたりしてボールを進め、ゴールにステップシュートやジャンプシュートをすることができる。

(7)学習指導計画（表1参照）

(8)実践結果

バスケットボールやポートボールは、どちらかというと制約される部分（コントロールシュート・2歩の歩数制限など）が多く、未習熟な小学生には思い切ったプレーがなかなかできない傾向がある。その点ハンドボールは、思い切ってシュートが打てることや歩数制限が緩やかであることなど、仔細なことは気にせず、ダイナミックな運動ができる。このことから、小学校中学年・高学年の子どもの発達特性を考えると、適した教材であると実感した。

表1　学習指導計画

はじめ1	**オリエンテーション①** 1　実態調査をする。 2　ハンドボールの特性について知る。 3　学習のねらいを理解し、単元全体の見通しを持つ。 ・単元の流れ　・巡視による健康視察　・準備運動の仕方　・学習カードの使い方(めあて・自己評価) 4　学習の約束を確認する。 ・5～6名の異質グループ編成　・用具等の準備役割分担　・試合時の役割分担
はじめ2	**オリエンテーション②** 1　準備運動 2　ボールを使ったゲーム ・パスゲーム　・ドリブル競争　・タッチフットボール　・シュートゲーム 3　整理運動
なか3～4	ねらい① 試しのゲームをしてルールを作る。（総当たり戦） 1　ゲームの準備をする。 ①コート(3コート) ②ボールを選ぶ ・ドッジボール1号球、0号球 ・ソフトバレーボール 2　準備運動をする。 3　ゲームをする。 時間－前半4分　後半4分 試合開始－味方へのパスから 4　整理運動をする。 5　本時の反省をし次時のめあてをたてる。
なか5～8	ねらい② 今できるパスやドリブルを使ってゲームを楽しむ。(総当たり戦) 1　ゲームの準備をする。 ①コート(2コート) ②ボールを選ぶ。 2　準備運動をする。 3　ゲーム①をする。(前半4分　後半4分) 4　ゲーム①の反省のもとに練習する。 5　ゲーム②をする。 6　整理運動をする。 7　本時の反省をし次時のめあてをたてる。
なか9～11	ねらい③ 対戦相手チームや、自チームに応じた作戦やルールを工夫して、ゲームを楽しむ。(対抗戦) 1　ゲームの準備をする。 ①コート(2コート) ②ルール <予想される特別ルール> ○女子の得点2点、男子の得点1点 ○キーパーに触れずに入ったら2点 ③ボール 2　準備運動をする。 3　ゲーム①をする。 ・前半(5分)→作戦(3分)→後半(5分) 4　ゲーム①の反省をし、練習をする。 5　ゲーム②をする。 6　整理運動をする。 7　本時の反省をし次時のめあてをたてる。
まとめ12	1　単元のまとめと学習の反省をする。 学習カード・ビデオなどで（楽しさ　マナー　協力　技能）

秋季学生リーグ戦結果

北信越学生秋季リーグ

■男子1部
金沢工大 26-13 新潟大
金沢工大 28-13 長野大
金沢工大 25-19 金沢大
金沢工大 24-19 信州大
新潟大 26-15 長野大
新潟大 23-17 金沢大
新潟大 23-17 信州大
金沢大 22-16 長野大
金沢大 22-20 信州大
信州大 21-17 長野大

【順位】
①金沢工業大②新潟大
③金沢大④信州大⑤長野大

■男子2部
富山大 26-23 福井大
富山大 39-10 富山国大
福井大 23-14 富山国大

【順位】
①富山大②福井大
③富山国際大

■女子
仁愛短大 20-19 金沢大
仁愛短大 21-15 富山大
仁愛短大 26-18 新潟大
金沢大 33-17 富山大
金沢大 21-20 新潟大
富山大 22-16 新潟大

【順位】
①仁愛短期大②金沢大
③富山大④新潟大

中四国学生秋季リーグ

■男子1部
広島経済大 22-16 広島大
広島経済大 24-12 愛媛大
広島経済大 24-17 岡山大
広島経済大 30-15 近畿大
広島経済大 28-16 松山大
広島大 19-7 愛媛大
広島大 18-14 岡山大
広島大 30-15 近畿大
広島大 25-12 松山大
愛媛大 16-14 岡山大
愛媛大 19-14 近畿大
愛媛大 19-11 松山大
岡山大 24-19 近畿大
松山大 16-13 岡山大
近畿大 24-16 松山大

【順位】
①広島経済大②広島大③愛媛大
④岡山大⑤近畿大⑥松山大

■男子2部
高知大 15-11 山口大
高知大 19-17 香川大
高知大 22-11 徳島大
高知大 24-16 川崎医福大
高知大 23-15 島根大
山口大 15-14 香川大
山口大 22-20 徳島大
山口大 24-20 川崎医福大
山口大 20-17 島根大
徳島大 20-16 香川大
香川大 23-14 川崎医福大
香川大 22-16 島根大
徳島大 24-21 川崎医福大
島根大 26-25 徳島大
川崎医福大 22-13 島根大

【順位】
①高知大②山口大③香川大
④徳島大⑤川崎医福大⑥島根大

■男子3部
【X】
鳥取大 16-15 四国大
鳥取大 26-13 四国学院大
鳥取大 31-10 徳山大
四国大 19-9 四国学院大
四国大 23-16 徳山大
四国学院大 19-19 徳山大
X_1 鳥取大
X_2 四国大
X_3 四国学院大
X_4 徳山大

【Y】
徳島文理大 22-17 広島工業大
徳島文理大 21-8 広島修道大
徳島文理大 30-12 岡山商科大
広島工業大 28-15 広島修道大
広島工業大 34-17 岡山商科大
広島修道大 19-15 岡山商科大
Y_1 徳島文理大
Y_2 広島工業大
Y_3 広島修道大
Y_4 岡山商科大

【順位決定戦】
徳島文理大 16-14 鳥取大
広島工業大 38-7 四国大
広島修道大 20-19 四国学院大
岡山商科大 19-18 徳山大

【順位】
①徳島文理大②鳥取大
③広島工業大④四国大
⑤広島修道大⑥四国学院大
⑦岡山商科大⑧徳山大

■女子1部
岡山県立大 12-12 広島大
岡山県立大 25-10 川崎医福大
岡山県立大 29-10 香川大
岡山県立大 29-5 愛媛大
広島大 20-16 川崎医福大
広島大 29-9 香川大
広島大 22-8 愛媛大
川崎医福大 22-8 香川大
川崎医福大 9-7 愛媛大
香川大 9-6 愛媛大

【順位】
①岡山県立大②広島大
③川崎医福大④香川大⑤愛媛大

■女子2部
岡山大 14-10 鳴門教育大

岡山大 23―8 高知大
岡山大 17―10 四国大
鳴門教育大 18―14 高知大
鳴門教育大 20―18 四国大
高知大 21―18 四国大
※山陽学園短大は棄権
[順位]
①岡山大②鳴門教育大
③高知大④四国大

九州学生秋季リーグ

■男子1部
福岡大 24―16 東和大
福岡大 29―19 福岡教育大
福岡大 28―13 九州大
福岡大 24―17 沖縄国際大
福岡大 30―11 琉球大
東和大 33―23 福岡教育大
東和大 35―11 九州大
東和大 31―15 琉球大
沖縄国際大 21―20 東和大
沖縄国際大 31―14 九州大
沖縄国際大 20―15 琉球大
福岡教育大 28―16 九州大
福岡教育大 28―26 沖縄国際大
福岡教育大 20―19 琉球大
琉球大 26―14 九州大
[順位]
①福岡大②東和大③沖縄国際大
④福岡教育大⑤琉球大⑥九州大

■男子2部
熊本学園大 24―19 西南学院大
熊本学園大 27―19 鹿児島大
熊本学園大 28―19 九州産業大
熊本学園大 28―18 大分大
熊本学園大 34―28 鹿児島経大
九州産業大 31―20 西南学院大
九州産業大 30―17 鹿児島大
九州産業大 23―10 大分大
九州産業大 36―17 鹿児島経大
西南学院大 28―25 鹿児島大
西南学院大 27―19 大分大
西南学院大 36―27 鹿児島経大
鹿児島大 21―20 鹿児島経大
大分大 22―18 鹿児島大
鹿児島経大 22―19 大分大
[順位]
①熊本学園大②九州産業大
③西南学院大④鹿児島大
⑤大分大⑥鹿児島経済大

■男子3部
熊本大 30―21 第一経済大
熊本大 17―17 熊本県立大
熊本大 23―14 日本文理大
熊本大 30―11 産業医科大
宮崎大 22―22 第一経済大
宮崎大 25―21 熊本大
宮崎大 25―17 日本文理大
宮崎大 31―28 産業医科大
熊本県立大 24―22 宮崎大
熊本県立大 24―13 日本文理大
熊本県立大 20―14 産業医科大
第一経済大 31―16 熊本県立大
第一経済大 22―18 日本文理大
産業医科大 24―22 第一経済大
産業医科大 22―19 日本文理大
[順位]
①熊本大②宮崎大
③熊本県立大④第一経済大
⑤産業医科大⑥日本文理大

■男子4部
(Aパート)
名桜大 32―25 長崎大
名桜大 33―23 九州共立大
名桜大 27―18 九州工業大
名桜大 35―24 長崎総科大
九州共立大 23―16 九州工業大
九州共立大 31―25 長崎総科大
長崎総科大 24―23 長崎大
長崎総科大 26―21 九州工業大
長崎大 36―28 九州共立大
九州工業大 29―27 長崎大
[順位]
①名桜大②九州共立大
③長崎総科大④長崎大
⑤九州工業大
(Bパート)
宮崎産経大 16―16 熊本工業大
宮崎産経大 20―20 鹿大医学部
宮崎産経大 27―20 第一工業大
宮崎産経大 21―19 沖縄大
熊本工業大 35―25 鹿大医学部
熊本工業大 27―23 第一工業大
鹿大医学部 22―20 第一工業大
鹿大医学部 24―20 沖縄大
第一工業大 33―17 沖縄大
沖縄大 35―23 熊本工業大
[順位]
①宮崎産経大②熊本工業大
③鹿大医学部④第一工業大
⑤沖縄大
(順位決定戦)
名桜大 24―11 宮崎産経大

■女子
福岡大 27―22 福岡教育大
福岡大 39―10 九州女子大
福岡大 29―12 琉球大
福岡大 36―17 沖縄国際大
福岡教育大 38―14 九州女子大
福岡教育大 42―11 琉球大
福岡教育大 39―22 沖縄国際大
沖縄国際大 29―20 九州女子大
琉球大 27―18 沖縄国際大
九州女子大 21―15 琉球大
[順位]
①福岡大②福岡教育大
③沖縄国際大④琉球大
⑤九州女子大

■入替戦
◆男子
琉球大 23―21 九州産業大
※琉球大1部残留
大分大 26―23 宮崎大
※大分大2部残留
宮崎産経大 不戦勝
※宮崎産経大3部昇格

●1997年熊本世界ハンドボール選手権パーフェクトビデオ

"世界"を再び!!

超人たちの躍動80試合を完全収録

全世界にテレビ放映された熊本世界選手権の熱戦80試合を完全ビデオ収録しました。4パターンのシリーズを用意。ロシアースウェーデンの決勝戦はもとより、歴史に残る名勝負といわれたロシアーフランス戦、国内中のファンが一喜一憂したフランスー日本戦など好ゲームが目白押しです。この機会に〝超人〟たちの躍動を1人占めにして下さい。

各種シリーズ	内　容	セット価格
A：がんばれニッポンシリーズ	健闘の日本を中心とした10試合セット	10本セット50,000円
B：興奮クライマックスシリーズ	決勝、準決勝の激闘など終盤の10試合	10本セット50,000円
C：熱戦パーフェクトシリーズ	〝これは〟という熱戦を厳選した豪華版	15本セット75,000円
D：お好みチョイス	大会80試合すべてのリクエストに対応	1本につき 5,500円

※上記に消費税、送料は含みません

お求めは
日本ハンドボール協会
及び
スポーツイベントまで

KEIRIN

このビデオの製作にあたっては「競輪公益基金」の補助を受けました。

●配給元/財団法人日本ハンドボール協会
TEL03-3481-2361・FAX03-3481-2367

●発売元/株式会社スポーツイベント
TEL03-3294-5231・FAX03-5259-7339

世界のスーパープレーを1人占め！

品番	カード			
WM①	予選リーグA	○アイスランド	24—20	日本●
②	〃	○リトアニア	27—18	サウジアラビア●
③	〃	○ユーゴスラビア	22—19	日本●
④	〃	○アルジェリア	27—27	アイスランド●
⑤	予選リーグB	○フランス	25—21	イタリア●
⑥	〃	△韓国	21—21	ノルウェー△
⑦	〃	○スウェーデン	36—17	アルゼンチン●
⑧	予選リーグC	○ポルトガル	26—18	ブラジル●
⑨	〃	○エジプト	24—22	チェコ●
⑩	〃	○スペイン	32—21	チュニジア●
⑪	予選リーグD	○ロシア	31—17	キューバ●
⑫	〃	○クロアチア	34—21	中国●
⑬	〃	○ハンガリー	25—19	モロッコ●
⑭	予選リーグA	○ユーゴスラビア	29—21	リトアニア●
⑮	〃	○アルジェリア	19—14	サウジアラビア●
⑯	予選リーグD	○ロシア	34—15	中国●
⑰	〃	○クロアチア	26—17	モロッコ●
⑱	予選リーグB	○韓国	27—26	フランス●
⑲	〃	○スウェーデン	24—17	ノルウェー●
⑳	予選リーグC	○チェコ	24—10	ブラジル●
㉑	〃	△エジプト	19—19	スペイン△
㉒	予選リーグA	○日本	23—20	サウジアラビア●
㉓	予選リーグB	△イタリア	19—19	ノルウェー●
㉔	〃	○フランス	24—20	アルゼンチン●
㉕	予選リーグC	○チュニジア	19—18	ポルトガル●
㉖	〃	○スペイン	32—11	ブラジル●
㉗	予選リーグD	○ロシア	30—13	モロッコ●
㉘	〃	○ハンガリー	22—21	キューバ●
㉙	予選リーグA	△リトアニア	19—19	アルジェリア△
㉚	〃	○アイスランド	27—18	ユーゴスラビア●
㉛	予選リーグB	○イタリア	21—15	アルゼンチン●
㉜	〃	○スウェーデン	36—21	韓国●
㉝	予選リーグC	○エジプト	24—17	チュニジア●
㉞	〃	○チェコ	28—24	ポルトガル●
㉟	予選リーグD	○キューバ	32—21	中国●
㊱	〃	○ハンガリー	23—20	クロアチア●
㊲	予選リーグA	○ユーゴスラビア	32—20	サウジアラビア●
㊳	〃	○日本	24—14	アルジェリア●
㊴	〃	○アイスランド	21—19	リトアニア●
㊵	予選リーグB	○韓国	32—22	アルゼンチン●
WM㊶	〃	○フランス	23—20	ノルウェー●
㊷	〃	○スウェーデン	19—17	イタリア●
㊸	予選リーグC	○エジプト	33—11	ブラジル●
㊹	〃	○チェコ	19—18	チュニジア●
㊺	〃	○スペイン	29—26	ポルトガル●
㊻	予選リーグD	○中国	25—21	モロッコ●
㊼	〃	△クロアチア	23—23	キューバ△
㊽	〃	○ロシア	24—19	ハンガリー●
㊾	予選リーグA	○アイスランド	25—22	サウジアラビア●
㊿	〃	○リトアニア	24—15	日本●
(51)	〃	○ユーゴスラビア	28—24	アルジェリア●
(52)	予選リーグB	○韓国	27—22	イタリア●
(53)	〃	○ノルウェー	27—22	アルゼンチン●
(54)	〃	○フランス	29—26	スウェーデン●
(55)	予選リーグC	○チュニジア	17—15	ブラジル●
(56)	〃	○エジプト	29—25	ポルトガル●
(57)	〃	○スペイン	29—26	チェコ●
(58)	予選リーグD	○キューバ	35—20	モロッコ●
(59)	〃	○ハンガリー	39—19	中国●
(60)	〃	○ロシア	31—20	クロアチア●
(61)	決勝トーナメント	○アイスランド	32—28	ノルウェー●
(62)	〃	○韓国	37—33	ユーゴスラビア●
(63)	〃	○スウェーデン	32—20	リトアニア●
(64)	〃	○フランス	22—21	日本●
(65)	〃	○スペイン	31—25	クロアチア●
(66)	〃	○エジプト	24—20	キューバ●
(67)	〃	○ハンガリー	20—19	チェコ●
(68)	〃	○ロシア	20—14	チュニジア●
(69)	準々決勝	○ハンガリー	26—25	アイスランド●
(70)	〃	○ロシア	32—15	韓国●
(71)	〃	○スウェーデン	28—24	スペイン●
(72)	〃	○フランス	22—19	エジプト●
(73)	順位決定予備戦	○アイスランド	32—23	スペイン●
(74)	〃	○エジプト	28—27	韓国●
(75)	5—6位決定戦	○アイスランド	23—20	エジプト●
(76)	準決勝	○スウェーデン	31—19	ハンガリー●
(77)	7—8位決定戦	○スペイン	33—26	韓国●
(78)	準決勝	○ロシア	25—24	フランス●
(79)	3—4位決定戦	○フランス	28—27	ハンガリー●
(80)	決勝戦	○ロシア	23—21	スウェーデン●

このシリーズはＮＨＫが全世界に向けて制作したテレビ映像をビデオ化したもので、10台のカメラを駆使して撮影され、シュートシーンなど好プレーのスロービデオもふんだんに盛り込まれています。

シリーズ	内容	品番	価格（税別）
A：がんばれニッポン！	健闘日本を中心にセレクト	①③㉒㊳㊿(64)(71)(74)(78)(80)	10本セット＝50,000円
B：興奮クライマックス	終盤の激戦をピックアップ	(62)(64)(66)(67)(69)(71)(72)(78)(79)(80)	10本セット＝50,000円
C：熱戦パーフェクト	絶対におすすめの豪華版！	④⑱㉑㉕㊱㊼(54)(62)(64)(65)(67)(69)(71)(78)(80)	15本セット＝75,000円
D：お好みチョイス	大会80ゲームのすべてのリクエストに対応します！		1本につき5,500円

※送料は何巻でも500円です

■支払方法／現金書留、郵便振替または銀行振り込みによる前払いです（宅急便・着払いもあり）。
■分割払い／信販会社を通じての分割払いやボーナス時一括払いも受け付けています。

●お申し込みは下記の申し込み用紙をコピーの上、日本ハンドボール協会（ＦＡＸ03-3481-2367・ＴＥＬ03-3481-2361）またはスポーツイベント（ＦＡＸ03-5259-7339・ＴＥＬ03-3294-5231）までＦＡＸでお送り下さい。シリーズにチョイス（1本につき5500円プラス）を加えることも可能。電話でも受け付けています。すべてのお問い合わせはスポーツイベントが承ります。

◆世界選手権ビデオ発売元／㈱スポーツイベント　〒101　東京都千代田区神田小川町1—9　川上ビル３階
ＴＥＬ03-3294-5231（代）／ＦＡＸ03-5259-7339／郵便振替・00140-5-11951

世界選手権ビデオ申し込み書

ご住所：〒

お名前：

ご自宅電話番号：

連絡先電話番号：

職　業：

年　令：

（シリーズ名を明記して下さい）　シリーズを（代金　　　円）購入します。

（品番を明記して下さい）　をチョイスで（代金　　　円）購入します。

合計　　　円

11月の行事予定

11月12日～16日／第40回全日本学生選手権大会（神奈川県・とどろきアリーナ）
11月15日～23日／ナショナル女子チーム　スロバキア遠征
11月24日～27日／ナショナル女子チーム　ハンガリー遠征
11月30日～12月15日／第13回女子世界選手権大会（ドイツ）

11月8日／常務理事会
11月15日／第2回理事会

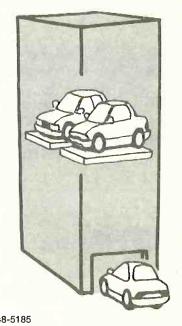
CONTENTS　11月号

■11月の日本リーグ日程（一部のみ）

11月8日（土）
（男子）本田×中村（鈴鹿）
11月9日（日）
（男子）三陽×大崎（水海道）
（男子）北電×日新（松岡町）
（男子）大同×湧永（東海）
11月15日（土）
（男子）大崎×大同（三郷）
（男子）湧永×北電、日新×本田（呉）
11月18日（火）
（男子）中村×三陽（東京）
11月19日（水）
（男子）三陽×本田（東京）
11月22日（土）
（男子）北電×大崎（松岡町）
（男子）日新×湧永（広島）
11月23日（日）
（男子）大同×中村（岡崎）

MIKASA®

明星ゴム工業株式会社

HAND BALLS

国際公認球

アデランテ 前進

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-AD ¥4,600

検定球3号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-AD ¥4,500

検定球2号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

ホワイト／ブラック

ホワイト／ブルー

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-BS ¥4,000

検定球3号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・男子用，人工皮革，
パキスタン製

PKCH2-BS ¥3,800

検定球2号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
人工皮革，パキスタン製

PKCH3-SRT ¥5,600

検定球3号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-SRT ¥5,500

検定球2号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

PKCH3-ADR ¥2,800

練習球3号，アデランテ，　手縫い
一般・大学・高校・男子用，合成ゴム
パキスタン製

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

本　　社	／〒733	広島市西区楠木町3丁目11-2	TEL082（237）5145
東京営業所	／〒111	東京都台東区松が谷1丁目5-14	TEL03（3843）4671
大阪営業所	／〒543	大阪市天王寺区東高津町1-6	TEL06（761）8441
大阪物流センター	／〒577	東大阪市西堤本通東3-4	TEL06（781）4845
広島営業所	／〒733	広島市西区楠木町3丁目11-2	TEL082（237）4772
名古屋営業所	／〒460	名古屋市中区千代田2丁目24-8	TEL052（251）2381
福岡営業所	／〒812	福岡市博多区東比恵4丁目12-9	TEL092（431）6950
仙台営業所	／〒984	仙台市若林区卸町東4丁目1-8	TEL022（288）2361

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』 第三八〇号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成九年十月二十六日印刷
平成九年十一月一日発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表 三四八一ー二三六一
振替 〇〇一二〇ー七ー一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
価格は登録金に含む